

国連総会(193カ国)は2月23日、ロシアのウクライナ侵攻を協議する緊急特別会合

ウラジーミル・プーチンは連邦議会に演説を行った。式典はモスクワのゴスティニー・ドヴォルで行われました。

2023年2月21日 13:50 モスクワ

ロシアのウラジーミル・プーチン大統領:こんにちは。

連邦議会のメンバー - 上院議員、下院議員、

ロシア市民の皆様、

この大統領演説は、私たち皆が知っているように、わが国にとって困難な分水嶺の時期に行われます。これは、全世界での急進的で不可逆的な変化の時であり、我が国と我が国民の未来を決定する重要な歴史的出来事の時であり、私たち一人一人が巨大な責任を負う時です。

1年前、私たちの歴史的な土地の人々を保護し、国の安全を確保し、2014年のクーデター後にウクライナに定着したネオナチ政権からの脅威を排除するために、特別キャンペーンを開始することが決定されました。軍事作戦。一步一步、慎重かつ一貫して、手元にあるタスクに対処します。

2014年以来、ドンバスは自分たちの土地に住み、母国語を話す権利を求めて戦ってきました。封鎖、絶え間ない砲撃、キエフ政権のあからさまな憎しみの中で戦い、決して諦めなかった。ロシアが助けに来ることを期待し、待っていた。

その間、ご存知のように、私たちはこの問題を平和的な手段で解決するために全力を尽くしており、この壊滅的な紛争の平和的解決について辛抱強く話し合いを進めてきました。

私たちの背後では、非常に異なる計画が孵化していました。今見て取れるように、西側の指導者たちの約束、彼らがドンバスの平和のために努力しているという彼らの保証は、偽物であり、あからさまな嘘であることが判明しました。彼らは単に時を刻み、政治的なごまかしに従事し、キエフ政権の政治的暗殺や望ましくない人々への報復、信者への虐待に目をつぶっていた。彼らは、ドンバスでのテロ攻撃を上演するようにウクライナのネオナチをますます扇動した。ナショナリスト大隊の将校は、西洋のアカデミーや学校で訓練を受けました。武器も支給されました。

特別軍事作戦に先立って、キエフは防空システム、戦闘機、その他の重装備のウクライナへの引き渡しについて、西側諸国と交渉を行ったことを強調したいと思います。我々はまた、核兵器を手に入れようとするキエフ政権の無駄な試みを思い出します。彼らはこの問題を公に議論しました。

米国とNATOは、ロシア国境近くに軍事基地と秘密の生物学研究所を迅速に展開しました。彼らは戦争ゲーム中に将来の戦争の舞台をマスターし、彼らが支配するキエフ政権と彼らが奴隷化したウクライナを大規模な戦争のために準備した。

今、彼らはこれを公に公然と認めており、それについて何の恥じも感じていません。彼らは、ミンスク協定とノルマンディー・フォーマットを外交ショーとブラフと呼びながら、誇りに思っており、自分たちの不誠実さを楽しんでいるようです。ドンバスが燃えている間、血がこぼれている間、そしてロシアが平和的解決を達成するために誠実にあらゆる努力をしている間(私は「誠実に」という言葉を強調したい)、彼らは人々の生活に賭けていたことが判明しました。彼らが特定のサークルで言うように、事実上、マークされたカードで遊んでいました。

このぞっとするような欺瞞の方法は、これまでに何度も試みられ、テストされてきました。彼らは、ユーゴスラビ

ア、イラク、リビア、シリアを破壊したときと同じように、恥知らずで重複した振る舞いをしました。彼らはこの恥を洗い流すことはできません。名誉、信頼、品位の概念は彼らには向いていません。

何世紀にもわたる植民地主義、独裁と覇権の間、彼らはすべてを許されることに慣れ、全世界に唾を吐くことに慣れてきました。彼らは自国に住む人々を主人のように同じ軽蔑で扱っていることが判明しました。結局のところ、彼らも冷笑的に彼らをだまし、平和の探求について、ドンバスに関する国連安保理決議の順守について、でたらめな話で彼らをだましました。実際、西側のエリートは完全で無原則な嘘の象徴になっています。

私たちは、私たちの利益と、今日の世界ではいわゆる文明国などへの分割があってはならず、排他性、特に攻撃的なものを拒否する誠実なパートナーシップが必要であるという私たちの信念を固く擁護します。

私たちはオープンであり、西側との建設的な対話に心から準備ができていました。私たちは、ヨーロッパと全世界の両方がすべての国に平等な不可分な安全保障システムを必要としていると主張し、長年にわたり、私たちのパートナーがこの考えを一緒に議論し、その実施に取り組むことを提案してきました。しかし、それに応じて、言葉に関する限り、不明瞭または偽善的な反応がありました。しかし、行動もありました：NATOの国境への拡大、ヨーロッパとアジアでのミサイル防衛のための新しい配備エリアの作成 - 彼らは「傘」の下で私たちから身を隠すことを決定しました - ロシアの国境の近くだけでなく、軍事派遣団の配備。

強調したいのは、実際、これはよく知られていることですが、米国ほど海外に多くの軍事基地を持っている国は他にありません。何百もの基地があります - 私はこれを強調したいと思います - 世界中に何百もの基地があります。惑星はそれらで覆われており、地図を一目見るだけでこれを確認できます。

中距離ミサイルや短距離ミサイルに関する条約を含む兵器に関する基本的な合意から脱退し、世界平和を維持するための基本的な合意を一方的に破棄する様子を全世界が目撃しました。どういうわけか、彼らはそれを行いました。私たちが知っているように、彼らは理由なしに何もしません。

最後に、2021年12月に、米国とNATOに安全保障に関する協定案を正式に提出しました。本質的に、すべての重要な基本的なポイントが拒否されました。その後、積極的な計画の実行にゴーサインが与えられ、それを止めるつもりはないことがついに明らかになりました。

脅威は日に日に増大していました。私たちが受け取った情報から判断すると、2022年2月までに、ドンバスでさらに別の血なまぐさい懲罰作戦を開始するためのすべてが整っていることに疑いの余地はありませんでした。2014年にキエフ政権が大砲、戦車、戦闘機をドンバスに派遣したことを思い出してください。

私たちは皆、ドネツクを狙った空爆の映像を覚えています。他の都市も空爆に見舞われた。2015年、彼らは封鎖を維持し、民間人を砲撃して恐怖に陥れ続けながら、再びドンバスに対する正面攻撃を開始しようとしていました。彼らはすべて、国連安全保障理事会が採択した文書や決議と完全に矛盾していましたが、誰もが何も起こっていないふりをしていたことを思い出してください。

繰り返しますが、この戦争を始めたのは彼らであり、私たちは武力を行使して戦争を止めようとしています。

ドンバス地域のドネツクとルガンスクに対する新たな攻撃を計画した人々は、クリミアとセヴァストポリが次の標的になることを理解していた。私たちもこれに気づきました。今日でも、キエフはこの種の遠大な計画について公然と話し合っています。彼らは、私たちがすでに知っていることを公表することで、自分自身を暴露しました。

西側が無限の力を求めている間、私たちは人命と私たちの共通の家を守っています。キエフ政権を支援し、武装させるために、すでに1500億ドル以上を費やしています。参考までに、経済協力開発機構によると、G7諸国は2020年から2021年にかけて、世界の最貧国を支援するために約600億ドルを割り当てました。これは明らかですか？彼らは戦争に1,500億ドルを費やし、最貧国に600億ドルを与えましたが、常に彼らのことを気にかけているふりをし、受益国に代わって服従することでこの支援を調整しました。貧困との戦い、持続可能な開発、環境保護につ

いてのこのすべての話はどうですか? それはどこに行ったのですか? それはすべて消えましたか? その間、彼らは戦争の努力により多くのお金を注ぎ続けています。

最近のミュンヘン会議は、ロシアに対する果てしない非難の流れに変わりました。これは、いわゆる西側諸国が過去数十年にわたって行って来たことを誰もが忘れるために行われたという印象を受けます。彼らは魔神を瓶から出し、地域全体を混乱に陥れた。

米国の専門家によると、2001年以降に米国が引き起こした戦争で約90万人が死亡し、3,800万人以上が難民になりました。これらの統計は私たちが考案したものではないことに注意してください。それらを提供しているのはアメリカ人です。彼らは今、これらすべてを人類の記憶から消し去ろうとしているだけであり、これらすべてが決して起こらなかったふりをしている。しかし、このことを忘れた人は世界に一人もいないし、これからも忘れないでしょう。

もちろん、何兆ドルものお金がかかっているのに、誰も人間の死傷者や悲劇を気にかけません。彼らはまた、民主主義と自由を装ってすべての人を奪い続け、新自由主義的で本質的に全体主義的な価値を押し付け、国や国家全体にブランドを付け、彼らの指導者を公に侮辱し、自国の反対意見を抑圧し、汚職スキャンダルから注意をそらし続けることができます。敵のイメージを作成することによって。テレビでは、国内の経済、社会、民族間のより大きな問題、矛盾、意見の相違が強調されています。

1930年代、西側諸国は事実上、ドイツでナチスの権力への道を開いた。私たちの時代、彼らはウクライナを「反ロシア」に変え始めました。実は、このプロジェクトは新しいものではありません。歴史にある程度詳しい人は、このプロジェクトが19世紀にさかのぼることを認識しています。オーストリア=ハンガリー帝国とポーランドは、現在ウクライナと呼ばれているこれらの歴史的領土をロシアから奪うという目的のためにそれを考えていました。これが彼らの目標です。ここには新しいものは何もありません。彼らはすべてを繰り返しています。

西側は、2014年のクーデターを支援することで、今日このプロジェクトの実施を促進しました。それは流血の、反国家的で違憲なクーデターでした。彼らは、何も起こらなかったふりをして、こうあるべきだと言いました。彼らはそれにどれだけのお金を費やしたかさ言いました。ロシア恐怖症と非常に攻撃的なナショナリズムがそのイデオロギー的基盤を形成しました。

ごく最近、ウクライナ軍の旅団は、ユーゴスラビア、イタリア、チェコスロバキア、ギリシャで、ユダヤ人の国外追放、捕虜の処刑、パルチザンに対する懲罰作戦に関与していたナチスの師団にちなんで、エーデルワイスと名付けられました。これについて話すのは恥ずかしいですが、そうではありません。ウクライナ軍とウクライナ国家警備隊に所属する人員は、Das Reich、Totenkopf (Death's Head)、ガリチナ師団、およびその他のSS部隊の兵士が以前に着用していたシェブロンが特に好きです。彼らの手も血で汚れています。ウクライナの装甲車両は、ナチスドイツ国防軍の記章が特徴です。

ネオナチは、自分たちが誰の相続人であると考えているかについてオープンです。驚いたことに、西側の権力者の誰もそれを見ていません。なぜ? 彼らは - 私の言葉を許して - それを気にすることができなかったからです。彼らは、私たち、ロシアとの戦いで誰に賭けているかは気にしません。実際、私たちと私たちの国と戦う限り、誰でもそうするでしょう。実際、私たちはテロリストやネオナチが彼らの階級にいるのを見ました。彼らは、ロシアに対する武器として意志に基づいて行動する限り、神のために、あらゆる種類のルールを彼らの仲間入りさせます。

実際、反ロシア・プロジェクトは、国境の近くで不安定性と紛争の発火点を作り出すための、わが国に対する報復政策の一部です。当時の1930年代も現在もその設計は変わっておらず、侵略を東に向け、ヨーロッパで戦争を引き起こし、代理勢力を使って競争相手を排除するというものです。

私たちはウクライナの人々と戦争をしているわけではありません。私はそのことを何度もはっきりさせてきました。ウクライナの人々は、キエフ政権とその西側の支配者の人質になっており、彼らは実際に政治的、軍事的、経

済的な意味でその国を占領しており、彼らとその天然資源を略奪するにつれて、何十年もの間ウクライナの産業を破壊してきました。これは社会の劣化と貧困と不平等の計り知れない増加につながりました。このような状況で軍事作戦のためのリソースを採用するのは簡単でした。虐殺のために条件付けられ、最終的に消耗品になった人々のことを誰も考えていませんでした。言うのは悲しく恐ろしいことですが、それは事実です。

ウクライナ紛争を扇動しエスカレートさせ、多数の死傷者を出している責任は、完全に西側エリート、そしてもちろん今日のキエフ政権の責任であり、ウクライナ国民は実際には自国民ではない。現在のウクライナ政権は、国益ではなく、第三国の利益に奉仕しています。

西側諸国は、ウクライナをロシアに対する攻撃手段として、また実験場として利用している。戦争を好転させようとする西側の試みや、軍事物資を増強する彼らの計画については、誰もがよく知っているのだから、私は詳しく議論するつもりはありません。ただし、誰もが明確にしておくべき状況が1つあります。それは、ウクライナに供給される西側システムの範囲が長くなればなるほど、脅威を国境から遠ざける必要があるということです。これは明らかです。

西側のエリートは、私が引用する「ロシアの戦略的敗北」という目標を隠していません。これは私たちにとって何を意味するのでしょうか？これは、彼らが私たちを完全に終わらせるつもりであることを意味します。言い換えれば、彼らはローカルな対立をグローバルな対立に発展させることを計画しています。これは私たちがそれをどのように理解しているかであり、これは私たちの国にとって実存的な脅威であるため、それに応じて対応します。

しかし、彼らも戦場でロシアを打ち負かすことは不可能であることを認識しており、主に若い世代を対象とした私たちに對する情報攻撃をますます積極的に行っています。彼らは、私たちの文化、ロシア正教会、および私たちの国の他の伝統的な宗教組織を攻撃する際に、嘘をつき、歴史的事実を歪曲することを決して止めません。

彼らが自分の人々に何をしているのか見てください。それはすべて、家族の破壊、文化的小児性愛の破壊、小児性愛を含む子供の倒錯と虐待に関するものであり、これらはすべて彼らの生活の中で正常であると宣言されています。彼らは司祭たちに同性結婚を祝福するよう強要しています。彼らの心を祝福し、好きなようにさせてください。この点について、私が言いたいことは次のとおりです。大人は自分の好きなようにできます。私たちロシアは常にそのように考えてきましたし、今後もそうするでしょう。誰も他人の私生活に侵入するつもりはありませんし、私たちもそうするつもりはありません。

しかし、ここで私が彼らに伝えたいことは、聖書と他の世界の宗教の主要な本を見てください。家族は男性と女性の結合であるなど、彼らはそれをすべて言いますが、これらの聖典は現在疑問視されています。伝えられるところによると、英国国教会は、性別に中立な神の考えを探求することを計画しており、計画しているだけです。何を言うべきですか？父よ、彼らを赦してください。

西洋の何百万人もの人々が、自分たちが霊的な災難に導かれていることに気づいています。率直に言って、エリート層は頭がおかしくなったようで、治療法はないようです。しかし、私が言ったように、これらは彼らの問題ですが、私たちは子供たちを守らなければなりません。私たちは子供たちを退化と退化から守ります。

明らかに、西側諸国は私たちの社会を弱体化させ、分裂させようとし、歴史を通して、そして私がこれを強調したいのですが、自分たちの祖国に対して同じ軽蔑の毒を使用し、それによってお金を稼ぎたいという願望を持ってきた5番目のコラムニストに賭けようとしています。お金を払っても構わないと思っている人なら誰にでもこの毒を売ります。それはいつもそうでした。

私たちの社会の安全と国の領土保全に対してテロリストやその他の犯罪を犯し、あからさまな裏切りの道を歩み始めた人々は、法律の下で責任を問われます。しかし、私たちは、魔女狩りに関わってきたキエフ政権や西側エリートのように決して行動しません。祖国に背を向けて一歩脇道にそれる者とは、決着をつけるつもりはありません。これを彼らの良心に任せて、これと一緒に生きさせましょう - 彼らはそれと一緒に生きなければならないでし

よう。重要な点は、ロシア市民である私たちの人々が彼らに道徳的評価を与えたということです。

私は誇りに思っていますし、私たちの国民の絶対多数である多民族国家が、特殊軍事作戦に対して原則的な立場をとっていることを私たち全員が誇りに思っていると思います。彼らは私たちが何をしているかの基本的な考え方を理解し、ドンバスの防衛に関する私たちの行動を支持してくれます。この支援は、主に彼らの真の愛国心を明らかにしました。これは、歴史的にわが国に固有の感情です。それは、その尊厳と、自分自身の運命と祖国の運命との間の不可分なつながりについて、誰もが深く理解している点で驚くべきものです。

親愛なる友の皆様、ロシアのすべての人々の勇気と決意に感謝したいと思います。私たちの英雄、陸軍と海軍の兵士と将校、ロシアの警備隊、秘密サービスのスタッフ、およびすべての権限の構造、ドネツクとルガンスクの軍団の戦闘員、ボランティアと愛国者に感謝したいと思います。BARS戦闘軍予備軍のランク。

本日のスピーチで全員のことをお話しできないことをお詫び申し上げます。ご存知のように、私がこの演説を起草していたとき、私はこれらの英雄的なユニットの非常に長いリストを書きましたが、それをテキストから削除しました。外。

私たちの擁護者の両親、妻、家族、負傷者を救っている医師と救急隊員、戦闘医と医療看護師に心から感謝します。フロントを提供している鉄道労働者と運転手へ。要塞を建設し、住宅、道路、民間施設を修復している建設業者に。現在、ほとんど24時間体制で、いくつかのシフトで働いている防衛会社の労働者とエンジニアに。そして、国の食料安全保障を確実に確保する農村労働者に。

ロシアの若い世代、特に非常に困難な、ほとんど最前線の状況で働いている若い世代を心から気遣っている教師に感謝しています。兵士や将校を支援するために敵対行為のゾーンや病院を訪れている文化的人物。前線と民間人を支援しているボランティア。世界に真実を伝えるために命を危険にさらしているジャーナリスト、主に従軍記者。ロシアの伝統的な宗教の牧師と軍事聖職者の賢明な言葉は人々を支え、鼓舞します。政府関係者とビジネスマン - 職業的、市民的、そして単に人間としての義務を果たすすべての人々。

私の特別な言葉は、ドネツクとルガンスクの人々の共和国、そしてザポロジエとヘルソン地域の住民に向けられています。皆さん、皆さんは国民投票で皆さんの将来を決定し、ネオナチの脅威と暴力にもかかわらず、緊密な軍事行動の中で明確な選択をしました。しかし、あなたの祖国と共に、ロシアと一緒にいたいというあなたの意図よりも強いものは何もありませんでした。

(拍手)

これがドネツクとルガンスクの人々の共和国、そしてザポロジエとヘルソン地域の住民に対する聴衆の反応であることを強調したいと思います。改めて、彼ら全員に心からの敬意を表します。

私たちはすでに連邦内のこれらの新しい地域のための主要な社会経済的回復と開発プログラムを開始しており、拡大する予定です。これには、再びロシアの内陸海となったアゾフ海の生産施設、雇用、港の復元、クリミアで行ったような新しい近代的な道路の建設が含まれます。クリミアには現在、ロシア全土との信頼できる陸上輸送回廊があります。私たちはこれらすべての計画を確実に一緒に実行します。

ロシアの地域は現在、ドネツクとルガンスクの人々の共和国とザポロジエとヘルソン地域の都市、地区、村に直接支援を提供しています。彼らは真の兄弟姉妹のように誠実にやっています。私たちは再び団結しました。これは、私たちがさらに強くなったことを意味し、私たちの土地に待望の平和を取り戻し、人々の安全を確保するために全力を尽くします。私たちの兵士、私たちのヒーローは、祖先のために、子供たちや孫たちの未来のために、私たちの人々を団結させるために戦っています。

友よ、ネオナチや侵略者の攻撃で命を落とした仲間の兵士たち、ロシアのために命を落とした民間人、高齢者、女性、子供たちに敬意を表すようお願いしたいと思います。

(1分間の黙祷)

ありがとう。

私たち全員が理解していますし、私も彼らの妻、息子、娘にとって、祖国の尊厳ある擁護者を育てた両親にとって、どれほど耐え難いほど難しいかを理解しています。大祖国戦争中のドンバスのために。ロシアの誰もが、今日に至るまで、勇気、回復力、途方もない精神力、自己犠牲を覚えています。

私たちの義務は、愛する人を亡くした家族を支援し、子供たちを育て、教育と仕事を与える手助けをすることです。特別軍事作戦に参加する各参加者の家族は、優先事項であり、注意と敬意を持って扱われなければなりません。彼らのニーズには、官僚的な遅延なしに、即座に対応する必要があります。

私は、特殊軍事作戦の退役軍人だけでなく、戦死した戦闘機の家族に的を絞った個別の支援をもたらすための専用の州基金を設立することを提案します。この機関は、社会的、医療的サポートとカウンセリングを提供するための取り組みを調整し、ヘルスリゾートへの派遣やリハビリテーションサービスの提供に関連する問題に対処すると同時に、教育、スポーツ、雇用、新しい職業の獲得を支援します。この基金には、必要とする人々に長期の在宅ケアとハイテク義肢を確実に提供するという重要な使命もあります。

私は政府に対し、国務院社会政策委員会および地域と協力して、組織上の問題をできるだけ早く解決するように求めています。

州の基金は、その業務において透明性を確保する必要があります。同時に、支援を合理化し、官僚主義や行政上の障壁のないワンストップ ショップとして運営する必要があります。例外なくすべての家族、およびすべての退役軍人には、直面する可能性のある問題をリアルタイムで解決するために直接そこにいるコーディネーターであるパーソナル ソーシャル ワーカーがいます。強調しておきますが、ファンドは 2023 年にロシア連邦のすべての地域にオフィスを開設する必要があります。

私たちは、大祖国戦争の退役軍人、退役軍人、および地域紛争の参加者を支援するための対策をすでに講じています。これらの重要な要素は、今後の州基金の使命に追加されると思います。私たちはこの可能性を探る必要があります、私は政府にそうするように求めています。

間違いなく、私たちが国家基金を設立しているという事実は、政府の他のレベルの他の機関や役人が彼らの責任から解放されることを意味するものではありません。私は、すべての連邦機関、地域、地方自治体が、退役軍人、軍人、およびその家族に焦点を当て続けることを期待しています。これに関連して、連絡窓口を訪問することを含め、定期的に人々と会い、同胞を支援している地域の高官、市長、知事に感謝したいと思います。

特筆すべき点として、今日、キャリアサービス要員、動員された徴集兵、およびボランティアはすべて、医療サービスだけでなく、食料品、物資と設備、報酬、負傷者への保険金の支払いなど、最前線の困難を共有していると言わせてください。しかし、私のオフィスだけでなく、彼らが私に言っているように知事、そして軍の検察庁と人権委員会にも苦情が寄せられており、これらの問題のいくつかはまだ解決されていないことを示しています。解決されます。ケースバイケースで各苦情の真相を突き止める必要があります。

そしてもう一つ、特別軍事作戦地域での勤務は、日々命と健康を危険にさらしているため、肉体的および精神的に多大なストレスを引き起こすことを誰もが理解しています。このため、動員された徴集兵、すべての軍人、および志願兵を含む特別軍事作戦に参加するすべての人は、6 か月ごとに少なくとも 14 日間の休職の恩恵を受けなければならないと私は信じています。目的地までの移動時間。このようにして、すべての戦闘機は家族に会い、愛する人と時間を過ごすことができます。

同僚の皆さん、ご存じのとおり、2021 年から 2025 年までの軍の構築と開発に関する計画は、大統領令によって承

認され、必要に応じて実施および調整されています。重要なことは、陸軍と海軍を強化し、軍隊の現在および将来の発展を確保するための次のステップは、特別軍事作戦中に得られた実際の戦闘経験に基づいていなければならないということです。私たち。

たとえば、最新のシステムは、ロシアの核抑止力の91%以上、91.3%を占めています。繰り返しになりますが、新たに得た経験に基づいて、軍隊の他のすべてのコンポーネントについても同様に高い品質レベルにアクセスする必要があります。

有能で現代的で決定的な指揮官として行動する将校と軍曹は多数あり、優先的により高い地位に昇進し、軍事大学やアカデミーに送られ、軍隊の強力な人員予備軍として機能します。間違いなく、彼らは市民生活やあらゆるレベルの政府にとって貴重な資源です。同僚にはその点に注意してもらいたいです。それは非常に重要です。国民は、祖国防衛への貢献を祖国が高く評価していることを知らなければなりません。

陸軍・海軍の高い品質基準を確保するため、最新技術を広く導入していきます。各エリアには、対応するパイロットプロジェクトと武器と装備のサンプルがあります。それらの多くは、外国の対応物よりも大幅に優れています。私たちの目標は大量生産を開始することです。この作業は進行中で、ペースを上げています。重要なことに、これは国内の研究と産業基盤に依存しており、国家防衛命令の実施には中小のハイテク企業が関与しています。

今日、私たちの工場、設計局、研究チームは、勝利を確実にするために努力を惜しまないというロシアの鍛冶屋の伝統に忠実でありながら、画期的な成果を目指している経験豊富な専門家と、ますます多くの才能と高度なスキルを持つ若者を採用しています。

給与や社会保障など、労働力への保証を確実に強化します。防衛産業の従業員のための低価格賃貸住宅の特別プログラムを開始することを提案します。それらの家賃の支払いは、そのかなりの部分が州によってカバーされるため、市場のレートよりも大幅に低くなります。

政府はこの問題を検討した。このプログラムの詳細に取り組み、主に主要な防衛、産業、研究の中心地である都市で、遅滞なくそのような賃貸住宅の建設を開始するように指示します。

同僚、

私がすでに述べたように、西側諸国は、私たちに対して軍事および情報戦争を開始しただけでなく、経済面でも私たちと戦おうとしています。しかし、彼らはこれらの面で成功したことはなく、今後も成功することはありません。さらに、制裁を開始した人々は自分自身を罰している。彼らは自国で物価を急騰させ、雇用を破壊し、企業を閉鎖させ、エネルギー危機を引き起こした一方で、これらすべての責任はロシア人にあると国民に言い聞かせている。私たちはそれを聞きます。

制裁で私たちを攻撃しようとして、彼らは私たちに対してどのような手段を使用しましたか? 彼らは、ロシア企業との経済関係を分断し、金融システムから通信チャネルを奪い、経済を閉鎖し、輸出市場から私たちを孤立させ、したがって私たちの収入を弱体化させようとしてきました。彼らはまた、私たちの外貨準備を盗み、スペードをスペードと呼び、ルーブルを切り下げ、インフレを破壊的な高みに押し上げようとしてきました。

ロシアに対する制裁は単なる手段にすぎず、西側の指導者が宣言したように、それらを引用する目的は、私たちを苦しめることであることを繰り返します。「彼らを苦しめる」-なんて人道的な態度でしょう。彼らは私たちの人々を苦しめたいと思っており、それは私たちの社会を内側から不安定にするように設計されています。

しかし、彼らの賭けは報われませんでした。ロシア経済とその統治モデルは、西側が考えていたよりもはるかに回復力があることが証明されました。政府、議会、ロシア銀行、地域、そしてもちろん経済界とその従業員はすべて協力して、経済状況が安定し、人々を保護し、雇用を維持し、必需品を含む不足を防ぎ、支援しました。企業に投資する金融システムと事業主、つまり国家の発展に投資することを意味します。

早ければ 2022 年 3 月に、約 1 兆ルーブル相当の企業と経済のための専用の支援パッケージを開始しました。これはお金を印刷することとは何の関係もないという事実に向けたいと思います。全くない。私たちが行うことはすべて、市場原理にしっかりと根ざしています。

2022年は国内総生産が落ち込みました。ミシュスティン氏から電話があり、「これについて言及してもらいたい」と言われました。これらのデータは昨日、予定通りにリリースされたと思います。

経済が 20 ~ 25%、あるいは 10% 縮小すると予測した人がいたことを覚えているかもしれません。ごく最近、2.9%の減少について話しましたが、この数字を発表したのは私でした。その後、2.5%まで下がりました。しかし、最新のデータによると、2022年にGDPは2.1%減少しました。また、昨年2月と3月には、経済が急落するとの予測が一部であったという事実には留意する必要があります。

ロシアの企業はロジスティクスを再構築し、信頼できる予測可能なパートナーとの関係を強化しました。パートナーの数は多く、世界で多数を占めています。

私たちの国際和解におけるロシアルーブルの割合は、2021年12月と比較して2倍になり、全体の3分の1に達し、友好国の通貨を含めると、すべての取引の半分以上を超えていることに注意してください。

我々は、西側のエリートである西側の支配者のこの政策によって普遍的な魅力を失う運命にあるドルやその他の西側の準備通貨から独立した、持続可能で安全な国際決済システムを構築するためにパートナーと協力し続けます。彼らは自分たちの手でこれらすべてを自分たちでやっています。ドルやその他のいわゆる世界共通通貨の取引を減らしているのは私たちではありません。彼らはすべて自分たちの手で行っています。

ご存知のように、大砲対バターという格言があります。もちろん、国防は最優先事項ですが、この分野の戦略課題を解決するにあたり、過去の過ちを繰り返したり、自国の経済を破壊したりしてはなりません。私たちには、安全を確保し、この国で自信を持って前進するための条件を作り出すために必要なものがすべて揃っています。私たちはこの論理に沿って行動しており、これを継続するつもりです。

したがって、強調しておきますが、国民経済における多くの基本的な民間産業は、衰退するどころか、昨年、生産量を大幅に増加させました。供用住宅の規模は、近代史上初めて1億平方メートルを超えました。

農業生産に関しては、昨年は2桁の成長率を記録しました。どうもありがとうございます。農業生産者の皆様には心より感謝申し上げます。ロシアの農業従事者は記録的な量を収穫しました - 1億トン以上の小麦を含む1億5000万トン以上の穀物を収穫しました。農業シーズンの終わり、つまり2023年6月30日までに、穀物輸出量を5,500万から6,000万トンに引き上げます。

ほんの10年か15年前、これはおとぎ話のように、まったく実現不可能な計画でした。覚えている方もいると思いますが、これを覚えている人もいます - 元副首相と農業大臣がここにいます - つい最近、農業従事者は年間全体で6,000万トンを入力しましたが、現在は5,500万から6,000万トンが輸出されています。潜在能力だけ。他の分野でも同様の突破口を開くあらゆる機会があると確信しています。

私たちは労働市場の崩壊を防ぎました。それどころか、現在の環境では失業を減らすことができました。今日、あらゆる面から直面している主要な課題を考えると、労働市場は以前よりもさらに良くなっています。パンデミック前の失業率は4.7%だったことを覚えているかもしれませんが、現在は3.7%になっていると思います。ミシュスティンさん、その姿は何ですか？3.7パーセント？これは過去最低です。

繰り返しますが、ロシア経済は直面しているリスクを克服してきました。もちろん、それらの多くを予測することは不可能であり、発生した問題に対処しながら文字通りその場で対応しなければなりません。国と企業の両方が迅速に動く必要がありました。私は、これらの取り組みにおいて、民間のアクターである中小企業が重要な役

割を果たしたことに留意しなければなりません。国家の役割を大きくすることで、過剰な規制や経済のゆがみを回避した。

他に何を言うべきですか？景気後退は2022年の第2四半期に限定されましたが、経済は第3四半期と第4四半期に成長しました。実際、ロシア経済は新たな成長サイクルに乗り出しました。専門家は、根本的に新しいモデルと構造に依存すると考えています。アジア太平洋地域を含む新しい有望な世界市場は、国内市場と同様に優先されており、その研究、技術、労働力はもはや商品の輸出ではなく、付加価値の高い商品の製造に向けられています。これは、ロシアがすべての分野と分野でその計り知れない可能性を解き放つのに役立ちます。

早ければ今年も国内需要が堅調に増加すると予想しています。私は、企業がこの機会を利用して製造を拡大し、需要の高い新製品を製造し、西側企業が撤退するにつれて空いた、または空けようとしている市場のニッチを引き継ぐと確信しています。

今日、私たちは何が起きているのかをはっきりと見ており、ロジスティクス、テクノロジー、財務、人事において対処しなければならない構造的な問題を理解しています。過去数年間、私たちは経済を再構築する必要性について多くのことを話し合ってきました。現在、これらの変更は不可欠であり、ゲームチェンジャーであり、すべてがより良いものになっています。私たちは、ロシアが安定した進歩を遂げ、外部からの圧力や脅威に関係なく独立して発展し、同時に国家の安全と利益を保証するために何を必要とするかを知っています。

私たちの仕事の本質は、状況に適応することではありません。私たちの戦略的任務は、経済を新たな地平へと導くことです。現在、すべてが変化しており、非常に急速に変化しています。今は挑戦の時であるだけでなく、チャンスの時でもあります。今日は本当にそうです。そして、私たちの未来は、これらの機会をどのように実現するかにかかっています。私たちはこれを強調したいと思いますが、すべての省庁間の対立、お役所仕事、不満、ダブルスピーク、またはその他のナンセンスに終止符を打たなければなりません。私たちが行うすべてのことは、目標の達成と結果の提供に貢献する必要があります。これが私たちが達成するために努力しなければならないことです。

ロシアの企業や小規模な家族経営の企業が市場をうまく開拓できるようにすること自体が勝利です。最先端の工場を建設し、何キロメートルにもわたる新しい道路を建設することが勝利です。私たちが建設するすべての新しい学校、すべての新しい幼稚園は勝利です。もちろん、科学的発見と新技術も勝利です。重要なのは、私たち全員が共有された成功に貢献することです。

州、地域、国内ビジネスのパートナーシップをどの分野に集中させるべきですか？

まず、有望な対外経済関係を拡大し、新たな物流回廊を構築します。モスクワ・カザン間高速道路をエカテリンブルク、チェリャビンスク、チュメニに延長し、最終的にはイルクーツクとウラジオストクに延長し、カザフスタン、モンゴル、中国に支線を設けることがすでに決定されている。これにより、東南アジア市場との関係を大幅に拡大することができます。

黒海とアゾフ海の港を開発します。南北国際回廊については、日頃から取り組んでおられることを承知のとおり、特に注意を払ってまいります。今年、最大喫水4.5メートルの船舶がヴォルガ・カスピ海運河を通過できるようになります。これにより、インド、イラン、パキスタン、中東諸国とのビジネス協力の新しいルートが開かれます。今後もこの回廊を整備していきます。

私たちの計画には、東部鉄道（シベリア横断鉄道とバイカル・アムール鉄道（BAM））の迅速な近代化と、北極海航路の可能性の構築が含まれています。これは、追加の貨物輸送だけでなく、シベリア、北極、極東の開発という私たちの国家目標を達成するための基盤にもなります。

地方のインフラ整備や通信・電気通信・鉄道などのインフラ整備は強力な推進力となる。来年の2024年には、国内最大の大都市のすべての道路の少なくとも85%と、すべての地方および地方自治体の道路の半分以上を適切な状

態にします。私たちはこれを達成すると確信しています。

また、無料のガス配布プログラムも継続します。私たちはすでに、幼稚園や学校、外来診療所や病院、一次医療センターなどの社会施設に拡大することを決定しています。このプログラムは市民にとって恒久的なものとなり、市民はいつでもガス供給システムへの接続を要求できます。

今年は、住宅およびユーティリティシステムを構築および修理するための大規模なプログラムを開始します。今後10年間で、少なくとも4.5兆ルーブルを投資する予定です。これが私たちの人々にとってどれほど重要であり、この地域がいかに無視されてきたかを私たちは知っています。この状況を改善する必要があり、私たちはそれを行います。プログラムを強力にスタートさせることが重要です。そのため、政府には安定した財源確保をお願いしたいと思います。

第二に、経済の生産能力を大幅に拡大し、国内の産業能力を高める必要があります。

産業用住宅ローンツールが作成され、生産設備の購入だけでなく、それらの建設やアップグレードのためにも、短期ローンを利用できるようになりました。そのようなローンの規模は何度も議論され、それを増やす計画がありました。それは最初のステップとしてはまともな金額です：最大5億ルーブル。最長7年間、3パーセントまたは5パーセントのレートで利用できます。これは非常に優れたプログラムのように思えます。有効に活用する必要があります。

産業クラスターの新しい条件が今年発効し、居住企業への財政的および管理的負担が軽減され、市場に参入したばかりの革新的な製品に対する需要をサポートするための長期的な州の命令と補助金が含まれます。

見積もりによると、これらの措置により、2030年までに10兆ルーブルを超える需要の高いプロジェクトが生み出されると予想されます。投資額は、今年だけで約2兆に達すると予想されています。これらは予測ではなく、既存のベンチマークであることに注意してください。

したがって、政府にはこれらのプロジェクトの立ち上げを早め、企業に手を差し伸べ、税制上の優遇措置を含む制度的な支援策を講じていただきたいと思います。私は、金融圏がインセンティブを提供することを好まないことを認識しており、このアプローチを部分的に共有しています。課税システムは一貫性があり、ニッチや免除がないようにする必要がありますが、この特定のケースでは創造的なアプローチが必要です。

そのため、今年から、ロシア企業は、国内の高度なITソリューションとAI強化製品を購入すれば、歳入税を削減できるようになります。さらに、これらの費用は実際の費用の1.5倍で控除されます。つまり、そのような製品の購入に投資されたすべてのルーブルは、1.5ルーブルの税控除になります。

これらの控除を、あらゆる種類のロシアのハイテク機器の購入に拡張することを提案します。政府には、特定の業界ごとにそのような機器のリストを作成し、控除を付与する手順を作成してもらいたいと思います。これは、経済を活性化するための良い解決策です。

第三に、私たちが何度も話し合ってきた新しい投資資金源に関係する経済開発アジェンダの重要な問題です。

私たちの強力な国際収支のおかげで、ロシアは海外で資金を借りたり、叩いてお金を乞い、何を、どのくらい、どのような条件で返済するかについて長い議論をする必要はありません。ロシアの銀行は安定的かつ持続的に機能しており、安全性には十分な余裕があります。

2022年には、企業部門向けの銀行融資の量が増加しました。繰り返しますが、増加しました。それについてはかなりの懸念がありましたが、粟粒手術前の2021年に報告したよりも14%増加した成長を報告しています。2021年の数値は11.7%でした。昨年は14%でした。住宅ローンのポートフォリオは20.4%上昇しました。私たちは成長しています。

昨年、銀行部門は全体として黒字経営を行った。それは前の年ほど大きくはありませんでしたが、それにもかかわらず、2030億ルーブルというかなりの額でした。これは、ロシアの金融セクターの安定性を示すもう1つの指標です。

私たちの見積もりによると、ロシアのインフレ率は今年の第2四半期に目標の4%に近づくでしょう。一部のEU加盟国では、インフレ率が12、17、20%に達したことを思い出してください。私たちの数字は4または5パーセントです。中央銀行と財務省はまだこの数字について話し合っていますが、目標に近づくでしょう。これらの前向きなダイナミクスやその他のマクロ経済パラメータを考慮して、経済の長期金利を引き下げるための客観的な条件を作成しています。これは、実体経済部門への融資がより手頃な価格になることを意味します。

個人の長期貯蓄は、世界中の投資資源の重要な源泉であり、投資分野への魅力を刺激する必要もあります。私は、政府に対し、本年4月に関連する州のプログラムを開始するために、下院への法案の提出を迅速に進めていただきたいと考えています。

人々が国内で投資して稼ぐことを奨励するための追加の条件を作成することが重要です。同時に、国民の希望退職貯蓄への投資の安全性を保証する必要があります。ここで、銀行預金を保証するために使用されるものと同様のメカニズムを作成する必要があります。最大140万ルーブルに相当するこのような貯蓄は、保証金で州によって保証されていることを思い出してください。私は、希望退職金の額を2倍の280万ルーブルにすることを提案します。同様に、金融ブローカーの倒産の可能性を含め、他の長期投資手段への人々の投資を保護しなければなりません。

急速に成長しているハイテク企業に資金を集めるには、別の決定を下す必要があります。私たちは、企業とその株式の買い手の両方に対する税制上の優遇措置を含め、国内株式市場への株式の発行に対する支援を承認します。

企業の自由は、経済主権の重要な要素です。繰り返しますが、ロシアを封じ込めようとする外部の試みを背景に、民間企業は、変化する環境に迅速に適応し、困難な状況で経済成長を確保する能力を証明しています。したがって、国に利益をもたらすことを目的としたすべてのビジネスイニシアチブは、サポートを受ける必要があります。

この文脈において、犯罪の経済的要素に関する刑法の多くの規範の改正に戻る必要があると私は信じています。もちろん、国はこの地域で起こっていることを管理しなければなりません。ここで何でもありの態度を許すべきではありませんが、行き過ぎてもいけません。私が言及した非犯罪化に向けてより迅速に動く必要があります。政府には、議会、法執行機関、業界団体とともに、この作業を一貫して真剣に実施していただきたいと思います。

同時に、私は政府に対し、議会と緊密に協力して、経済のオフショア化を加速するための追加措置を提案するよう要請したいと思います。企業、主に主要なセクターや産業で活動する企業は、ロシアの管轄内で活動する必要があります。これは基本原則です。

同僚の皆さん、この文脈で、少し哲学的な余談をしたいと思います。特筆したいのはこれ。

私たちは、ソビエト経済が後期段階で直面した問題と不均衡を覚えています。これが、1990年代の混乱の中で、ソビエト連邦とその計画されたシステムの崩壊後、国が市場関係と私的所有の線に沿って経済を創造し始めた理由です。全体として、これは正しいことでした。この点で、西側諸国はおおむね従うべき例でした。ご存知のように、彼らのアドバイザーは十数人で、彼らのモデルを単にコピーするだけで十分に思えました。確かに、私は彼らがまだお互いに議論したことを覚えています - ヨーロッパ人はロシア経済がどのように発展すべきかについてアメリカ人と議論しました。

で、その結果どうなったの？私たちの国民経済は主に西側に向けられており、その大部分は原材料の供給源でした。当然、ニュアンスの違いはありましたが、全体として、私たちは原材料の供給源として見られていました。その理由も明らかです。当然のことながら、形成されつつあった新しいロシアのビジネスは、主に利益を生み出すこと、つまりそもそも迅速かつ簡単に利益を生み出すことを目的としていました。何がこれを提供できますか？もち

ろん、石油、ガス、金属、木材などの資源の販売。

他の選択肢について考えた人はほとんどいませんでした。おそらく、長期的に投資する機会がありませんでした。これが、他のより複雑な産業があまり進歩しなかった理由です。この負の傾向を打ち破るには、他の政府もこれをはっきりと認識しており、何年もかかりました。税制を調整し、大規模な公共投資を行わなければなりません。

私たちは現実的で目に見える変化を達成しました。確かに結果はそこにありますが、繰り返しになりますが、私たちの主要な事業が発展した状況を心に留めておく必要があります。テクノロジーは西側からもたらされ、より安価な資金源と有利な市場が西側にあり、資本も西側に流れ始めました。残念なことに、生産を拡大し、設備や技術を購入してロシアで新しい雇用を創出する代わりに、彼らは外国の邸宅、ヨット、高級不動産にお金を費やしました。

彼らは後に経済への投資を始めましたが、最初はお金が消費目的で西側に急速に流れました。そして、彼らのお金がそこにあつたので、それが彼らの子供たちが教育を受け、彼らの人生があり、彼らの未来があつた場所です。私たちは自由市場のパラダイムに住んでいたため、州がこれらの開発を追跡して防止することは非常に困難であり、ほとんど不可能でした。

最近の出来事は、資本の安全な避難所としての西側のイメージが曇り雲であったことを明確に示しています。ロシアを収入源としてしか見ておらず、主に海外で生活することを計画していた人々は、これを時間内に理解できず、多くのものを失いました。彼らはそこで強盗に遭い、合法的なお金さえも奪われるのを見ました。

ある時点で、私は冗談を言いました - 多くの人は今でも覚えているかもしれませんが - 私はロシアのビジネスマンに、お金を節約しようとして法廷から法廷へ、そしてオフィスからオフィスへと走り回って気分が悪くなるだろうと言いました。それがまさにそれが判明した方法です。

とてもシンプルですが、本当に重要なこととお話します。外国の銀行で資産を失ったり、海外でヨットや宮殿を失ったりした人々を気の毒に思う一般市民は、わが国には一人もいません。台所のテーブルを囲んでの会話の中で、人々は1990年代の民営化を思い出しました。当時、私たちの国全体で構築された企業はほとんどゼロで売却され、いわゆる新しいエリートが贅沢なライフスタイルを誇示しました。

他にも重要な側面があります。ソビエト連邦の崩壊に続く数年間、西側はソビエト後の国家に火をつけようとすることを決して止めませんでした。彼らは、国際テロリストによる攻撃を助長し、国境周辺で地域紛争を引き起こし、私たちの利益を無視し、経済を封じ込め、抑圧しようとしてきました。

私がこれを言っているのは、ロシアの大企業が、多くの地域の社会経済的幸福、ひいては全体的な状況を決定する何千人もの労働者を抱える戦略的企業を支配しているからです。したがって、そのような企業の指導者や所有者が、ロシアに友好的でない政策を採用する政府に依存するようになると、これは私たちにとって大きな脅威となり、国にとって危険になります。これは受け入れがたい状況です。

はい、誰もが選択できます。一見魅力的な西洋の首都、リゾート、または海外の快適な場所で自分の居場所を見つけようとして、アカウントがブロックされた押収された邸宅に住むことを選択する人もいます。誰にでもそれを行う権利があり、私たちはそれを侵害することは決してありません。しかし、西側では、これらの人々はこれまでもこれからも、どんな扱いもできる二流の見知らぬ人であり、彼らのお金、つながり、獲得した伯爵、仲間、または市長の称号はまったく役に立たないことを確認する時が来ました。彼らはそこで二流の人々であることを理解しなければなりません。

別の選択肢があります。母国に留まり、同胞のために働き、新しいビジネスを開くだけでなく、都市、町、そして国全体であなたの周りの生活を変えることです。私たちのビジネスコミュニティには、このような本物のファイタ

ーであるビジネスパーソンがかなりいます。彼らの繁栄と未来の源は、ここ、母国ロシアにしかないことを誰もが知っておく必要があります。

もしそうなら、私たちは非常に強力な自給自足の経済を創り出し、世界に孤立したままではなく、その競争上の優位性をすべて活用するでしょう。ここで稼いだお金であるロシアの資本は、国のために、国の発展のために使われなければなりません。今日、私たちはインフラの開発、製造部門、国内観光、その他多くの産業に大きな可能性を見出しています。

西洋の略奪的な慣習に立ち向かった人たちに、私の言いたいことを聞いてもらいたい:あなたはあなたが誰を扱っているかを理解します。過去にしがみつくのをやめて、少なくとも何かを取り戻すために法廷に訴える。あなたは強い人だから、あなたの人生と仕事を変えてください - 私は今、私たちのビジネスマンに話しかけています。

新しいプロジェクトを開始し、お金を稼ぎ、ロシアのために一生懸命働き、企業や仕事に投資し、学校や大学、科学と医療、文化とスポーツを支援してください。このようにして、あなたは富を増やし、世代を超えて人々の尊敬と感謝を勝ち取るでしょう。国や社会はきっとあなたをサポートしてくれるでしょう。

これをあなたのビジネスへのメッセージと考えてみましょう:正しい方向に進みましょう。

同僚、

ロシアは開かれた国であると同時に、独自の文明でもあります。この声明には、排他性や優位性を主張するものはありませんが、私たちのこの文明 - それが重要です。私たちの祖先はそれを私たちに渡しました。

私たちは、私たちと一緒に働く準備ができていてすべての人たちと一緒に、友人と協力していきます。私たちはベストプラクティスを採用しますが、主に私たち自身の可能性、ロシア社会の創造的なエネルギー、私たちの伝統と価値観に依存します。

ここで、寛大さ、寛大さ、慈悲と思いやりによって常に区別されてきた私たちの人々の性格について言及したいと思います。ロシアは国として、これらの特徴を完全に反映しています。私たちは良い友達になる方法、自分の言葉を守る方法を知っています。誰のことも裏切らず、困っている人をいつでもためらわずに支えていきます。

パンデミックの間、イタリアやその他の州が COVID の発生で最も困難な数週間を過ごしていたときに、私たちが実際にヨーロッパの一部の国を最初に支援したことを誰もが覚えています。地震。

私たちの国家主権の基盤であり、私たちの力の源であるのは、ロシアの人々です。市民の権利と自由は不変です。それらは憲法によって保証されており、外部からの挑戦や脅威にもかかわらず、憲法から逸脱することはありません。

これに関連して、来年9月の地方および地方政府機関の選挙と2024年の大統領選挙は、法律に厳密に従い、すべての民主的、憲法上の条項を遵守して行われることを強調したいと思います。

選挙は常に、社会的および経済的目標を解決するためのさまざまなアプローチを明らかにします。とはいえ、主要な政治勢力は、人々の安全と幸福という主要な考えで統合され、団結しています。私たちの主権と国益は、私たちにとって他のすべてに優先します。

この責任ある確固たる立場に感謝し、愛国者であり強力なロシア国家の支持者であるピョートル・ストルイピンの言葉を思い出してください。彼は100年以上前に下院でこれを述べましたが、それは今でも私たちの時代に共鳴しています。彼は次のように述べた:「ロシアを守るために、私たち全員が団結し、私たちの努力、コミットメント、歴史的な最高の権利、つまりロシアが強くなる権利を支持する権利を調整しなければなりません。」

最前線のボランティアには、下院議員や地方議会の議員、さまざまなレベルの行政機関、地方自治体、都市、地区、農村地域の代表者が含まれます。すべての議会政党と主要な公共団体は、最前線で支援する人道支援の収集に参加しています。

このような愛国的な立場に感謝します。

市民社会を強化し、日々の課題を解決する上で、国民に最も近い公共機関としての地方自治体は大きな役割を果たしています。国家全体に対する人々の信頼、国民の社会福祉、そして国の発展の成功に対する人々の信頼は、彼らがどのように働くかにかかっています。

大統領府と政府に対し、大、中、小規模の自治体における最高の管理チームと実践を直接支援するツールを作成するための提案を提出するようお願いしたいと思います。

社会の自由な発展とは、あなた自身とあなたの愛する人たち、そしてあなたの国のために責任を負う準備ができていることを意味します。これらの資質は、家族の中で幼い頃から奨励されなければなりません。もちろん、教育制度と国民文化は、共通の価値観と国民的アイデンティティを強化するために非常に重要です。

州は、大統領補助金財団、文化イニシアチブ財団、インターネット開発研究所、およびその他の手段のリソースを使用して、現代美術と伝統美術、リアリズムと前衛、古典と革新など、あらゆる形態の創造的努力を支援します。動作します。重要なのはジャンルやトレンドではありません。文化は、善、美、調和に奉仕し、人生におけるいくつかの非常に複雑で矛盾した問題を熟考しなければなりません、その主な使命は、社会を破壊することではなく、最高の人間の資質を育てることです。

文化の発展は、ドンバスとノヴォロシヤで平和な生活を再建するための優先事項となるでしょう。私たちは、博物館のコレクションや建物を含む何百もの文化施設を再建、修理、設備を提供する必要があります。これは、人々が過去と現在のつながりを感じ、未来へのつながりを生み出し、共通のものとのつながりを感じるのに役立ちます。何世紀にもわたる偉大なロシアの文化的、歴史的、教育的な空間。

私たちは教師、研究者、専門家と協力して、学校や大学の教科書の質を真剣に改善しなければなりません。まず第一に、歴史、社会科学、文学、地理などの人文科学の分野で、私たちの若者がロシアについてできるだけ多く学べるようにする必要があります。、その偉大な過去、その文化と伝統。

私たちには、科学研究、文化、社会分野、ビジネス、行政などの分野で、わが国の利益のために喜んで働く優秀で才能のある若者がいます。ロシアの指導者コンペティションと、現在連盟の新しい構成団体で行われているリバイバルの指導者コンペティションは、まさにこれらの人々のキャリア成長のための新しい地平を切り開いています。

特に、これらの大会の勝者とファイナリストの多くは、自発的に軍事部隊に参加しています。彼らの多くは現在、解放された地域で経済的および社会的生活を再建するために働いており、専門家として、断固として、勇気を持って行動しています。

一般的に言えば、戦争の学校に取って代わるものはありません。人々はまったく違った形で帰還し、どこで働いていても、祖国のために命を捨てる準備ができています。

ドンバスとノヴォロシヤで生まれ育ち、彼らのために戦ったのは、まさにこれらの人々であり、これらの地域を発展させるための私たちの共同の努力の基盤を形成し、形成すべきであることを強調させてください。ロシアはあなたを頼りにしています。

わが国が直面している野心的な課題を念頭に置いて、専門教育のシステム、科学技術政策へのアプローチを真剣に修正しなければなりません。

科学教育評議会の最近の会議で、私たちは、主に私たちがかなりの量の研究を行い、重要である分野で、具体的かつ根本的に意味のある科学的結果を得ることに資源を集中させるために、私たちの努力に優先順位を付ける必要性について議論しました。これには、輸送、エネルギー、住宅および公益事業、公衆衛生、農業、製造業が含まれます。

革新的な技術は、常に既存の基礎研究に依存しています。ここでは、文化と同じように、これを強調したいと思いますが、研究者に創造性の自由をもっと与えなければなりません。明日必要な結果だけに全員を集中させるべきではありません。基礎科学は独自のルールを作ります。

また、野心的な目標を設定して達成することは、若者が自分の分野として科学を選択する強力なインセンティブであり、リーダーシップスキルと世界最高であることを証明するチャンスでもあります。私たちの研究チームには、誇りに思うことがたくさんあります。

昨年12月、私は若い研究者の何人かに会いました。彼らの質問の1つは住宅に関するものでした。ありふれた、しかし重要な問題。若手研究者の住居証明書はすでに利用可能です。昨年、これらの目的のためにさらに10億ルーブルが確保されました。私はここに、このプログラムを拡大するための準備金を特定するよう政府に指示します。

近年、中等職業教育の威信は著しく高まっています。専門学校や大学の卒業生に対する需要は、非常に巨大です。ご存知のように、失業率が歴史的な低水準の3.7%に低下した場合、人々は働いており、新しい人材が必要であることを意味します。

私は、教育および産業クラスターが作成され、教育基盤が更新され、企業と雇用主が大学や専門学校と緊密に連携して経済のニーズに基づいて教育プログラムを開発する Professionalitet プロジェクトを大幅に拡大する必要があると考えています。そしてもちろん、実際の複雑な制作の経験を持つメンターが参加することは非常に重要です。

課題は明らかです。今後5年間で、電子産業、ロボット産業、機械工学、冶金、製薬、農業、防衛産業、建設、輸送、原子力などの職業専門家を約100万人訓練する必要があります。ロシアの安全、主権、競争力を確保するための鍵となる産業。

最後に、非常に重要な質問は、私たちの高等教育についてです。ここでも、経済、社会部門、およびわが国の生活のあらゆる分野の専門家に対する新しい要件を考慮して、大幅な変更が予定されています。ここで私たちが必要としているのは、ソビエトの教育システムにあったすべての最高のものと、ここ数十年の経験の統合です。

これに関して、以下が提案される。

まず、わが国の伝統である高等教育を受けた専門家の基礎訓練に戻る。研究期間は4年から6年です。同時に、同じ専門分野および1つの大学内であっても、特定の職業、業界、および労働市場の需要に応じて、トレーニングの点で異なるプログラムを提供できます。

第二に、職業が追加のトレーニングやニッチな専門化を必要とする場合、この場合、若者は修士号を取得するか、レジデンシートレーニングを選択することで教育を続けることができます。

第三に、大学院の研究は専門教育の別のレベルにされます。そのタスクは、科学および教職のための人材を訓練することです。

新しいシステムへの移行はスムーズに行われる必要があることを強調したいと思います。政府は国会議員とともに、教育や労働市場などに関する法律に多くの修正を加える必要があります。ここでは、すべてを熟考し、すべての詳細を解決する必要があります。若者、市民は、質の高い教育、雇用、専門的成長のための新しい機会を持つべきです。繰り返しますが、問題ではなく機会です。

そして、現在勉強している学生は、既存のプログラムの下で教育を継続できることに特に注意したいと思います。また、現在の学部、専門家、または修士課程での研究をすでに完了している市民の訓練および高等教育の卒業証書のレベルは、改訂の対象ではありません。彼らは権利を失ってはなりません。私は、ロシア人民戦線に対し、高等教育分野の変化に関するすべての問題を特別な管理下に置くよう要請します。

今年はロシアの教師と指導者の年と宣言されました。国の未来をつくるのは教員であり、教員の社会的地位を高めることは重要です。親は子供たちに教師への感謝の気持ちをもっと伝えるべきであり、教師は子供たちに両親への敬意と愛を植え付けるべきです。これを常に覚えておきましょう。

子供たちとロシアの家族への支援については、後ほどお話しします。

私は、いわゆる子供の予算、またはロシアの家族を支援するための予算配分が、過去数年間でわずかな割合ではなく、多様に増加していることに注意したいと思います。これらの支出は、国の主要な財務文書である予算、予算に関する法律の中で最も急速に増加している部分です。私は、国会議員と政府が、私たちの国の優先事項について統一された統合された理解を示してくれたことに感謝したいと思います。

2月1日に、ロシアの産科資本は再びインフレ調整されました。約束どおり、昨年のインフレ率、つまり11.9%で調整されています。連邦の新しい地域の居住者であるロシア市民も、現在、このサポートを受ける資格があります。ロシア全土でこのプログラムが開始された2007年から、ドネツクとルガンスクの人々の共和国、および子供が生まれたザポロジエとヘルソン地域の家族に出産資本を付与することを提案します。かつて、クリミアとセバストポリの住民に対して同様の決定を下したことを思い出してください。

私たちは、ロシアの家族の生活水準を向上させることを目的とした大規模なプログラムを引き続き実施します。

政府と連邦の地域には、ロシアの実質賃金の顕著な、具体的な成長を確実にするという実際的な目標が与えられていることを強調したいと思います。

ご存知のように、重要な指標である出発点は最低賃金です。去年は2回、全体でほぼ20%引き上げました。

インフレ率と実質賃金の伸び率よりも高い率で、最低賃金を引き続き引き上げます。今年の初めから、最低賃金は6.3%調整されました。

2024年1月1日から、計画された引き上げをさらに10%引き上げることを提案します。したがって、最低賃金は18.5%上昇し、19,242ルーブルになります。

ここで、ロシアの家族のための税制の調整について言及したいと思います。昨年、2人以上の子供を持つ家族は、新しい、より大きなフラットまたは家を購入する場合、住宅の売却に対する税金の支払いが免除されました。

これらの手段をより有効に活用する必要があります。需要があることが証明されています。家族は、最も重要で緊急の問題を解決できるように、家計により多くのお金を持っている必要があります。

私は、社会税の控除額を増やすことを提案します。子供の教育費については、現在の年間50,000ルーブルから110,000ルーブルに、個人教育、治療、または薬の購入にかかる費用については、現在の120,000ルーブルから150,000ルーブルに引き上げます。州は、これらの増加した金額に対して支払われた13%の所得税を払い戻します。

当然、この控除額を増やすだけでなく、この給付を人々が簡単に利用できるようにする必要があります。この控除は、事前に、迅速に、オンラインで付与する必要があります。このプロセスは、申請者にとって簡単なはずですが、

次。ロシアの家族の幸福、生活の質、そして人口統計学的状況は、社会的領域の状況に直接依存しています。

連邦の多くの地域では、社会インフラ、文化施設、スポーツ施設の改修、老朽化した住宅からの住民の移転、農村地域の総合的な開発を大幅に加速する準備ができています。この姿勢はきっと支持されるでしょう。

ここでは次のメカニズムを使用します。地域は今すぐ受け取り、2024年の連邦予算で確保された国家プロジェクトの資金を、無利子の財務ローンを通じて使用できます。これらは2024年4月に自動的に返済されます。良いツールです。

我々はこの問題を常に検討し、国務院経済財政委員会にこの作業に関与するよう要請する。

しかし、急いで数字を追いかける必要はありません。特に建設中の施設の質を損なうこととなります。高い収益を得るには、追加の財源を効率的に使用する必要があります。

これは、私たちが2021年に開始した大規模なプログラムであるプライマリヘルスケアの近代化にとって特に重要です。私は政府と地域の指導者に、ベンチマーク(私は何度も言っていますが)は報告書の数値ではないことを忘れないようお願いします。、しかし、医療の利用可能性と質における具体的、目に見える、具体的な進歩。

また、診断機器を備えた救急車の調達を組織化するための規制の枠組みを調整するよう政府に指示します。これにより、健康診断や予防検査を企業、学校、オフィス、遠隔地のコミュニティで直接実施することができます。

大規模な学校改修プログラムを開始しました。今年末までに、合計約3,500の校舎が改修される予定です。彼らのほとんどは地方に住んでおり、意図的にこれを行っていることを指摘したいと思います。今年、そのような作業は、ヘルソンとザポロジエ地域のドネツクとルガンスクの人々の共和国でも行われています。それは意味があり目に見えるものであり、人々は実際に何が起きているのかを見ています。これはすごくいい。

2025年以降、建物が老朽化した状態にならないように、幼稚園、学校、専門学校、大学の修理と改修のために、連邦資金が定期的かつ体系的に地域に割り当てられます。

次に、2019年から2024年の間に1,300校以上の新しい学校を建設するという大きな目標を設定しました。そのうち850校が現在開校しています。今年はさらに400軒がオープンする予定です。これらの目標を達成するために、地域は順調に進んでほしいと思います。この2019～2024年のプログラムに対する連邦政府の資金援助額は、ほぼ4,900億ルーブルです。私たちはこれらのコストを削減しません。この金額はそのまま維持します。

今年は、インフラ予算の融資額を増やしました。以前の計画とは異なり、地域の輸送、ユーティリティ、およびその他のインフラストラクチャを拡大するために、追加の資金を2,500億ルーブル送ります。

私はここに政府に対し、これらの資金に加えて、500億ルーブルを追加配分するよう指示します。この資金は、今年、連邦の構成組織の公共交通機関をアップグレードするために意図的に使用されます。このアップグレードは、最新のテクノロジーに使用されます。小さな町や田舎の地域には特に注意してください。

私たちは、Clean Airプロジェクトを2030年まで延長することを決定しました。目標は、主要な産業センターの環境を改善することです。私は、有害な排出物の大幅な削減が議題に残っていることを、産業界の企業や地域および地方自治体が心に留めておいてほしいと思います。

また、廃棄物処理業界の改革にも多くの成果を上げています。私たちは、閉ループ経済の構築に役立つリサイクルと選別の能力を構築しています。古い埋め立て地や有害物質のサイトをさらになくすことは、私たちの最優先事項です。私は、政府が地域と連携して、このプログラムの完了時に排除される有害なサイトのリストを起草することを望んでいます。

バイカル湖やヴォルガ川など、ユニークな水域の復元を続けます。中期的には、ドン川、カマ川、イルティシュ川、ウラル川、テレク川、ヴォルホフ川、ネヴァ川、イルメン湖など、他の川にもこの作業を拡大する予定です。中小河川も忘れてはなりません。政府のあらゆるレベルでこれに注意を払ってほしい。

事前の指示の一環として、特別保護自然地域での観光を促進するための法案が提出されました。最近、政府との会合で議論された。何が建設可能で、どこに何が建設できないかを明確に定義し、一般的にエコツーリズム産業の原則を定める必要があります。これはわが国にとって非常に重要な問題です。私は下院に、この法案の審議を早めるよう要請します。

ここで、私たちの周りで何が起きているかについて少しお話しします。

同僚の皆さん、もう1つの問題についてお話ししましょう。

2月初旬、北大西洋同盟は、ロシアに対し、核防衛施設への査察の許可を含め、戦略兵器削減条約の実施に戻ることを実際に要求する声明を発表しました。私はこれを何と呼ぶべきかさえ知りません。一種の不条理劇です。

我々は、キエフ政権が我々の戦略的航空基地を攻撃しようとする試みに西側諸国が直接関与していることを知っている。この目的で使用されるドローンは、NATO 専門家の支援を受けて装備および更新されました。そして今、彼らは私たちの防衛施設も検査したいのですか？ 対立の現在の状況では、それは単に正気ではないように聞こえます。

特に、この条約に基づく本格的な査察を許可していないという事実に注目していただきたいと思います。さまざまな施設を検査するための私たちの繰り返しの申請は、回答がないままであるか、正式な口実の下で拒否され、反対側で何も確認できません。

米国とNATOは、ロシアに戦略的敗北をもたらすことが目標だと公然と言っていることを強調したいと思います。そして、そのような声明の後、彼らは最新のものを含む私たちの防衛施設を、まるで何もなかったかのように見学することになっていますか？ 1週間前、私は新しい陸上戦略システムを戦闘任務に置く大統領令に署名しました。彼らもそこに鼻を突っ込むつもりですか？ 彼らは、私たちが彼らをそこに行かせると思っているのでしょうか？

この共同声明を発表したことで、NATO は実際に戦略攻撃兵器に関する条約の参加者であると主張しました。これに同意します。先に進んでください。さらに、この問題のフレーミングは、長い間延期されていると考えています。米国だけがNATOの唯一の核保有国ではないことを思い出してください。英国とフランスも核兵器を保有しています。彼らはそれらを開発し、アップグレードしており、これらの兵器は私たちに対しても向けられています - それらはロシアに対しても向けられています。彼らの指導者による最新の声明は、それを確認するだけです。

私たちはこれを無視することはできず、特に今はそうする権利はありません。また、1991年にソビエト連邦と米国が最初に戦略攻撃兵器に関する最初の条約に調印したことも忘れてはなりません。緊張が緩和され、相互信頼が高まっているという状況でした。その後、私たちの関係は、ロシアと米国がもはやお互いを敵とは見なしていないと言えるレベルに達しました。素晴らしい、すべてがとてもうまくいっていました。

発効中の2010年の条約には、分割不可能な安全保障と、戦略的な攻勢兵器と防衛兵器の間の直接的なつながりに関する非常に重要な条項が含まれています。そのすべては長い間忘れられてきました。米国はABM条約から脱退した。今では過去のものであります。重要なのは、私たちの関係が悪化したことであり、これは完全に米国のせいです。

ソビエト連邦が崩壊した後、彼らは第二次世界大戦の結果を修正し、1人のマスターが支配するアメリカ式の世界を構築し始めました。これを行うために、彼らはヤルタ会議とポツダム会議の遺産を消すために、第二次世界大戦後に敷設された国際秩序の基盤を無礼に破壊し始めました。一步一步、彼らは既存の国際秩序を修正し、治安と軍備管理システムを解体し、世界中で一連の戦争を企て実行しました。

繰り返しますが、そのすべては、第二次世界大戦後の国際関係の構造を解体するという唯一の目的のために行われました。これは比喩表現ではありません。これが実際にすべてが展開された方法です。ソビエト連邦が崩壊した後、彼らは現代のロシアや他の国の利益に関係なく、世界的な支配を永続させようとしてきました。

案の定、1945年以降、国際情勢は変化しました。成長と影響力の新しい中心が形成され、急速に拡大しています。これは無視できない自然で客観的なプロセスです。しかし、米国が国際秩序を自らのニーズと利己的な利益のみに適合するように作り直そうとすることは容認できません。

現在、彼らは NATO を使って私たちに信号を送っていますが、これは実際のところ、ロシアが新 START 条約を含め、同意したすべてのことを質問することなく実施すべきであり、彼らは好きなように行うという最後通牒です。あたかも戦略的攻撃兵器と、たとえば、ウクライナでの紛争や、わが国に対する他の敵対的な西側の行動との間に関係がないかのように。彼らが私たちに戦略的敗北を負わせようとしているという騒々しい主張がないかのように。これは偽善と皮肉の極み、または愚かさの極みですが、彼らはばかではありません。結局のところ、彼らは愚かではありません。彼らは私たちに戦略的な敗北をもたらし、核施設に到達したいと考えています。

この点に関して、私は本日、ロシアが新START条約への加盟を停止することを発表せざるを得ません。繰り返しますが、私たちは条約から脱退するのではなく、参加を一時停止します。この問題の議論に戻る前に、フランスやイギリスなどのNATO諸国が何を危機に瀕しているか、そして彼らの戦略兵器、つまり同盟の複合攻撃能力をどのように説明するかについて明確な考えを持たなければなりません。

実際、彼らの声明は、このプロセスへの参加を求めるものです。さて、乗船してください、私たちは気にしません。今回は誰にも嘘をつかないようにして、平和と緊張緩和の擁護者として自分自身を提示してください。私たちは真実を知っています。私たちは、特定の種類の米国の核兵器が耐用年数を迎えつつあるという事実を認識しています。この点に関して、特に米国が革新的な核兵器を開発しているため、ワシントンの一部の政治家がすでに核実験を熟考していることは確かです。という情報があります。

このような状況を考えると、国防省とロスアトムは、ロシアが核実験を行うためのすべての準備を整えなければなりません。私たちはこれらのテストを最初に進めるわけではありませんが、米国がそれらを進めるなら、私たちもそうします。世界の戦略的均衡が崩壊する可能性があるという危険な幻想を抱くべきではありません。

同僚、ロシア市民、

今日、私たちは共に困難な時代を生き、すべての困難を共に乗り越えています。私たちは偉大な祖先の模範として育てられ、代々受け継がれてきた彼らの命令に値するに違いないからです。私たちは、祖国への献身、意志、団結によってのみ前進しています。

この結束は、特別軍事作戦の最初の日から見られました。何百人もの志願兵、わが国のすべての民族の代表者が募集事務所にやって来ました。彼らは、ドンバスの擁護者の側に立って、祖国、祖国、真実と正義のために戦うことに決めました。今日、私たちの多民族の祖国のすべての地域の戦士が最前線で肩を並べて戦っています。彼らは異なる言語で祈りますが、彼らは皆、勝利、仲間の兵士、そして祖国のために祈っています。（拍手。）

彼らの困難な軍事労働、彼らの偉業は、ロシア全土で強力な反響を呼んでいます。人々は私たちの戦闘機をサポートしています。彼らは傍観者になりたくないのです。戦線は今、何百万人もの私たちの人々の心を通しています。彼らは、いくつかの例を挙げると、医薬品、通信機器、輸送手段、防寒着、カモフラージュ ネットなど、戦闘員の命を守るのに役立つすべてのものを送ってきています。

子供たちや学童が最前線の兵士たちに慰めの手紙を送っていることを私は知っています。子供たちの願いの誠実さと純粋さに涙が出てくるので、彼らは彼らを大切な所有物として戦いに連れて行きます。彼らは、誰のために戦っているのか、誰を守っているのかをより強く感じます。

戦士、その家族、民間人は、ボランティアが彼らを取り囲んでいるケアに非常に感謝しています。彼らは、特別軍事作戦の開始当初から、大胆かつ断固として行動してきました。火事と砲撃の下で、彼らは子供、年長者、困っているすべての人を地下室から導き出しています。彼らは昔も今も、ホットスポットに食料、水、衣類を運んでいます。彼らは難民のための人道支援センターを設立し、野戦病院や戦闘連絡線で医師を支援しています。彼らは他人を救うために命を危険にさらし続けています。

ロシア人民戦線だけでも、All for Victory イニシアチブの一環として 50 億ルーブル以上を調達しました。寄付の流れは止まりません。すべての貢献は重要であり、これは大企業やビジネスマンによる貢献にも当てはまります。しかし、特に感動的で刺激的なのは、貯蓄、給与、年金の一部を提供している、収入の少ない人々の寄付です。私たちの戦士、敵対行為のゾーンにいる民間人、難民を助けるために団結することは、非常に価値があります。

この誠実なサポート、結束、相互扶助に感謝します。それらの重要性を誇張することは不可能です。

ロシアは、私たち全員が 1 つの国であり、大きな統一国家であるため、どんな困難にも立ち向かいます。私たちは自分自身に自信を持っており、自分の強さに自信を持っています。真実は私たちの側にあります。（拍手。）

ありがとう。

ロシア連邦の国歌が流れます。

Events

Presidential Address to Federal Assembly

Vladimir Putin delivered his Address to the Federal Assembly. The ceremony took place in Gostiny Dvor, Moscow.
February 21, 2023 13:50 Moscow

President of Russia Vladimir Putin: Good afternoon,

Members of the Federation Assembly – senators, State Duma deputies,

Citizens of Russia,

This Presidential Address comes, as we all know, at a difficult, watershed period for our country. This is a time of radical, irreversible change in the entire world, of crucial historical events that will determine the future of our country and our people, a time when every one of us bears a colossal responsibility.

One year ago, to protect the people in our historical lands, to ensure the security of our country and to eliminate the threat coming from the neo-Nazi regime that had taken hold in Ukraine after the 2014 coup, it was decided to begin the special military operation. Step by step, carefully and consistently we will deal with the tasks we have at hand.

Since 2014, Donbass has been fighting for the right to live in their land and to speak their native tongue. It fought and never gave up amid the blockade, constant shelling and the Kiev regime's overt hatred. It hoped and waited that Russia would come to help.

In the meantime, as you know well, we were doing everything in our power to solve this problem by peaceful means, and patiently conducted talks on a peaceful solution to this devastating conflict.

Behind our backs, a very different plan was being hatched. As we can see now, the promises of Western leaders, their assurances that they were striving for peace in Donbass turned out to be a sham and outright lies. They were simply marking time, engaged in political chicanery, turning a blind eye to the Kiev regime's political assassinations and reprisals against undesirable people, their mistreatment of believers. They increasingly incited the Ukrainian neo-Nazis to stage terrorist attacks in Donbass. The officers of nationalist battalions trained at Western academies and schools. Weapons were also supplied.

I would like to emphasise that, prior to the special military operation, Kiev held negotiations with the West about the delivery of air-defence systems, warplanes and other heavy equipment to Ukraine. We also recall the Kiev regime's vain attempts to obtain nuclear weapons; they discussed this issue publicly.

The United States and NATO quickly deployed their army bases and secret biological laboratories near Russian borders. They mastered the future theatre of war during war games, and they prepared the Kiev regime which they controlled and Ukraine which they had enslaved for a large-scale war.

Now they admit this publicly and openly, and they feel no shame about it. They seem to be proud and even to be revelling in their own perfidy, while calling the Minsk Agreements and the Normandy Format a diplomatic show and a bluff. It turns out that all this time, while Donbass was ablaze, while blood was being spilled, and while Russia sincerely made every effort to achieve a peaceful solution (I want to emphasise the word “sincerely”), they gambled on people’s lives, and in effect, were playing with marked cards, as they say in certain circles.

This appalling method of deception has been tried and tested many times before. They behaved just as shamelessly and duplicitously when destroying Yugoslavia, Iraq, Libya, and Syria. They will never be able to wash off this shame. The concepts of honour, trust, and decency are not for them.

Over the long centuries of colonialism, diktat and hegemony, they got used to being allowed everything, got used to spitting on the whole world. It turned out that they treat people living in their own countries with the same disdain, like a master. After all, they cynically deceived them too, tricked them with tall stories about the search for peace, about adherence to the UN Security Council resolutions on Donbass. Indeed, the Western elites have become a symbol of total, unprincipled lies.

We firmly defend our interests as well as our belief that in today’s world there should be no division into so-called civilised countries and all the rest and that there is a need for an honest partnership that rejects any exclusivity, especially an aggressive one.

We were open and sincerely ready for a constructive dialogue with the West; we said and insisted that both Europe and the whole world needed an indivisible security system equal for all countries, and for many years we suggested that our partners discuss this idea together and work on its implementation. But in response, we received either an indistinct or hypocritical reaction, as far as words were concerned. But there were also actions: NATO’s expansion to our borders, the creation of new deployment areas for missile defence in Europe and Asia – they decided to take cover from us under an ‘umbrella’ – deployment of military contingents, and not just near Russia’s borders.

I would like to stress –in fact, this is well-known – that no other country has so many military bases abroad as the United States. There are hundreds of them – I want to emphasise this – hundreds of bases all over the world; the planet is covered with them, and one look at the map is enough to see this.

The whole world witnessed how they withdrew from fundamental agreements on weapons, including the treaty on intermediate and shorter-range missiles, unilaterally tearing up the fundamental agreements that maintain world peace. For some reason, they did it. They do not do anything without a reason, as we know.

Finally, in December 2021, we officially submitted draft agreements on security guarantees to the USA and NATO. In essence, all key, fundamental points were rejected. After that it finally became clear that the go-ahead for the implementation of aggressive plans had been given and they were not going to stop.

The threat was growing by the day. Judging by the information we received, there was no doubt that everything would be in place by February 2022 for launching yet another bloody punitive operation in Donbass. Let me remind you that back in 2014, the Kiev regime sent its artillery, tanks and warplanes to fight in Donbass.

We all remember the aerial footage of airstrikes targeting Donetsk. Other cities also suffered from airstrikes. In 2015, they tried to mount a frontal assault against Donbass again, while keeping the blockade in place and continuing to shell and terrorise civilians. Let me remind you that all of this was completely at odds with the documents and resolutions adopted by the UN Security Council, but everyone pretended that nothing was happening.

Let me reiterate that they were the ones who started this war, while we used force and are using it to stop the war.

Those who plotted a new attack against Donetsk in the Donbass region, and against Lugansk understood that Crimea and Sevastopol would be the next target. We realised this as well. Even today, Kiev is openly discussing far-reaching plans of this kind. They exposed themselves by making public what we knew already.

We are defending human lives and our common home, while the West seeks unlimited power. It has already spent over \$150 billion on helping and arming the Kiev regime. To give you an idea, according to the Organisation for Economic Cooperation and Development, the G7 countries earmarked about \$60 billion in 2020–2021 to help the world’s poorest countries. Is this clear? They spent \$150 billion on the war, while giving \$60 billion to the poorest countries, despite pretending to care about them all the time, and also conditioning this support on obedience on behalf of the beneficiary countries. What about all this

talk of fighting poverty, sustainable development and protection of the environment? Where did it all go? Has it all vanished? Meanwhile, they keep channelling more money into the war effort. They eagerly invest in sowing unrest and encouraging government coups in other countries around the world.

The recent Munich Conference turned into an endless stream of accusations against Russia. One gets the impression that this was done so that everyone would forget what the so-called West has been doing over the past decades. They were the ones who let the genie out of the bottle, plunging entire regions into chaos.

According to US experts, almost 900,000 people were killed during wars unleashed by the United States after 2001, and over 38 million became refugees. Please note, we did not invent these statistics; it is the Americans who are providing them. They are now simply trying to erase all this from the memory of humankind, and they are pretending that all this never happened. However, no one in the world has forgotten this or will ever forget it.

None of them cares about human casualties and tragedies because many trillions of dollars are at stake, of course. They can also continue to rob everyone under the guise of democracy and freedoms, to impose neoliberal and essentially totalitarian values, to brand entire countries and nations, to publicly insult their leaders, to suppress dissent in their own countries and to divert attention from corruption scandals by creating an enemy image. We continue to see all this on television, which highlights greater domestic economic, social and inter-ethnic problems, contradictions and disagreements.

I would like to recall that, in the 1930s, the West had virtually paved the way to power for the Nazis in Germany. In our time, they started turning Ukraine into an “anti-Russia.” Actually, this project is not new. People who are knowledgeable about history at least to some extent realise that this project dates back to the 19th century. The Austro-Hungarian Empire and Poland had conceived it for one purpose, that is, to deprive Russia of these historical territories that are now called Ukraine. This is their goal. There is nothing new here; they are repeating everything.

The West expedited the implementation of this project today by supporting the 2014 coup. That was a bloody, anti-state and unconstitutional coup. They pretended that nothing happened, and that this is how things should be. They even said how much money they had spent on it. Russophobia and extremely aggressive nationalism formed its ideological foundation.

Quite recently, a brigade of the Armed Forces of Ukraine was named Edelweiss after a Nazi division whose personnel were involved in deporting Jews, executing prisoners of war and conducting punitive operations against partisans in Yugoslavia, Italy, Czechoslovakia and Greece. We are ashamed to talk about this, but they are not. Personnel serving with the Armed Forces of Ukraine and the Ukrainian National Guard are particularly fond of chevrons formerly worn by soldiers from Das Reich, Totenkopf (Death’s Head) and Galichina divisions and other SS units. Their hands are also stained with blood. Ukrainian armoured vehicles feature insignia of the Nazi German Wehrmacht.

Neo-Nazis are open about whose heirs they consider themselves to be. Surprisingly, none of the powers that be in the West are seeing it. Why? Because they – pardon my language – could not care less about it. They do not care who they are betting on in their fight against us, against Russia. In fact, anyone will do as long as they fight against us and our country. Indeed, we saw terrorists and neo-Nazis in their ranks. They would let all kinds of ghouls join their ranks, for God’s sake, as long as they act on their will as a weapon against Russia.

In fact, the anti-Russia project is part of the revanchist policy towards our country to create flashpoints of instability and conflicts next to our borders. Back then, in the 1930s, and now the design remains the same and it is to direct aggression to the East, to spark a war in Europe, and to eliminate competitors by using a proxy force.

We are not at war with the people of Ukraine. I have made that clear many times. The people of Ukraine have become hostages of the Kiev regime and its Western handlers, who have in fact occupied that country in the political, military and economic sense and have been destroying Ukrainian industry for decades now as they plundered its natural resources. This led to social degradation and an immeasurable increase in poverty and inequality. Recruiting resources for military operations in these circumstances was easy. Nobody was thinking about people, who were conditioned for slaughter and eventually became expendables. It is a sad and dreadful thing to say, but it is a fact.

Responsibility for inciting and escalating the Ukraine conflict as well as the sheer number of casualties lies entirely with the Western elites and, of course, today’s Kiev regime, for which the Ukrainian people are, in fact, not its own people. The current Ukrainian regime is serving not national interests, but the interests of third countries.

The West is using Ukraine as a battering ram against Russia and as a testing range. I am not going to discuss in detail the West’s attempts to turn the war around, or their plans to ramp up military supplies, since everyone is well aware of that. However, there is one circumstance that everyone should be clear about: the longer the range of the Western systems that will be supplied to Ukraine, the further we will have to move the threat away from our borders. This is obvious.

The Western elite make no secret of their goal, which is, I quote, “Russia’s strategic defeat.” What does this mean to us? This

means they plan to finish us once and for all. In other words, they plan to grow a local conflict into a global confrontation. This is how we understand it and we will respond accordingly, because this represents an existential threat to our country.

However, they too realise it is impossible to defeat Russia on the battlefield and are conducting increasingly aggressive information attacks against us targeting primarily the younger generation. They never stop lying and distorting historical facts as they attack our culture, the Russian Orthodox Church and other traditional religious organizations in our country.

Look what they are doing to their own people. It is all about the destruction of the family, of cultural and national identity, perversion and abuse of children, including pedophilia, all of which are declared normal in their life. They are forcing the priests to bless same-sex marriages. Bless their hearts, let them do as they please. Here is what I would like to say in this regard. Adult people can do as they please. We in Russia have always seen it that way and always will: no one is going to intrude into other people's private lives, and we are not going to do it, either.

But here is what I would like to tell them: look at the holy scripture and the main books of other world religions. They say it all, including that family is the union of a man and a woman, but these sacred texts are now being questioned. Reportedly, the Anglican Church is planning, just planning, to explore the idea of a gender-neutral god. What is there to say? Father, forgive them, for they know not what they do.

Millions of people in the West realise that they are being led to a spiritual disaster. Frankly, the elite appear to have gone crazy, and it looks like there is no cure for that. But like I said, these are their problems, while we must protect our children, which we will do. We will protect our children from degradation and degeneration.

Clearly, the West will try to undermine and divide our society and to bet on the fifth columnists who, throughout history, and I want to emphasise this, have been using the same poison of contempt for their own Fatherland and the desire to make money by selling this poison to anyone who is willing to pay for it. It has always been that way.

Those who have embarked on the road of outright betrayal, committing terrorist and other crimes against the security of our society and the country's territorial integrity, will be held accountable for this under law. But we will never behave like the Kiev regime and the Western elite, which have been and still are involved in witch hunts. We will not settle scores with those who take a step aside and turn their back on their Motherland. Let this be on their conscience, let them live with this – they will have to live with it. The main point is that our people, the citizens of Russia, have given them a moral assessment.

I am proud, and I think we are all proud that our multi-ethnic nation, the absolute majority of our citizens, have taken a principled stance on the special military operation. They understand the basic idea of what we are doing and support our actions on the defence of Donbass. This support primarily revealed their true patriotism – a feeling that is historically inherent in our nation. It is stunning in its dignity and deep understanding by everyone – I will stress, everyone – of the inseparable link between one's own destiny and the destiny of the Fatherland.

My dear friends, I would like to thank everyone, all the people of Russia for their courage and resolve. I would like to thank our heroes, soldiers and officers in the Army and the Navy, the Russian Guards, the secret services staff, and all structures of authority, the fighters in Donetsk and Lugansk corps, volunteers and patriots who are now fighting in the ranks of the BARS combat army reserve.

I would like to apologise that I will not be able to mention everyone during today's speech. You know, when I was drafting this speech, I wrote a very long list of these heroic units but then removed it from my text because, as I said, it is impossible to mention everyone, and I was afraid to offend anyone I might leave out.

My deepest gratitude to the parents, wives and families of our defenders, the doctors and paramedics, combat medics and medical nurses that are saving the wounded; to the railway workers and drivers that are supplying the front; to the builders that are erecting fortifications and restoring housing, roads and civilian facilities; to the workers and engineers at defence companies, who are now working almost around-the-clock, in several shifts; and to rural workers who reliably ensure food security for the country.

I am grateful to the teachers who sincerely care for the young generations of Russia, especially those that are working in very difficult, almost front-line conditions; the cultural figures that are visiting the zone of hostilities and hospitals to support the soldiers and officers; volunteers that are helping the front and civilians; journalists, primarily war correspondents, that are risking their lives to tell the truth to the world; pastors of Russia's traditional religions and military clergy, whose wise words support and inspire people; government officials and business people – all those who fulfill their professional, civil and simply human duty.

My special words go to the residents of the Donetsk and Lugansk people's republics, and the Zaporozhye and Kherston regions. You, my friends, determined your future at the referendums and made a clear choice despite the neo-Nazis' threats and violence, amid the close military actions. But there has been nothing stronger than your intent to be with Russia, with your Motherland.

(Applause)

I want to emphasise that this is the reaction of the audience to the residents of the Donetsk and Lugansk people's republics, and the Zaporozhye and Kherson regions. Once again, our deepest respect for them all.

We have already begun and will expand a major socioeconomic recovery and development programme for these new regions within the Federation. It includes restoring production facilities, jobs, and the ports on the Sea of Azov, which again became Russia's landlocked sea, and building new, modern roads like we did in Crimea, which now has a reliable land transport corridor with all of Russia. We will definitely implement all of these plans together.

Russia's regions are currently providing direct assistance to the cities, districts and villages in the Donetsk and Lugansk people's republics and the Zaporozhye and Kherson regions. They are doing it sincerely, like true brothers and sisters. We are together again, which means that we have become even stronger, and we will do everything in our power to bring back the long-awaited peace to our land and ensure the safety of our people. Our soldiers, our heroes are fighting for this, for their ancestors, for the future of their children and grandchildren, for uniting our people.

Friends, I would like to ask you to pay your respects to our fellow soldiers who were killed in the attacks of neo-Nazis and raiders, who gave up their lives for Russia, for civilians, the elderly, women and children.

(A minute of silence)

Thank you.

We all understand, and I understand also how unbearably hard it is for their wives, sons and daughters, for their parents who raised those dignified defenders of the Fatherland – like the Young Guard members from Krasnodon, young men and women who fought against Nazism and for Donbass during the Great Patriotic War. Everyone in Russia remembers their courage, resilience, enormous strength of spirit and self-sacrifice to this day.

Our duty is to support the families that have lost their loved ones and to help them raise their children and give them an education and a job. The family of each participant in the special military operation must be a priority and treated with care and respect. Their needs must be responded to immediately, without bureaucratic delays.

I suggest establishing a dedicated state fund for bringing targeted, personalised assistance to the families of fallen fighters, as well as veterans of the special military operation. This entity will be tasked with coordinating efforts to offer social, medical support and counselling, and also address matters related to sending them to health resorts and providing rehabilitation services, while also assisting them in education, sports, employment and in acquiring a new profession. This fund will also have an essential mission to ensure long-term home care and high-technology prosthetics for those who need that.

I am asking the Government to work with the State Council Commission on Social Policy and with the regions to resolve the organisational matters as quickly as possible.

The state fund must be transparent in its work, while streamlining assistance and operating as a one-stop-shop, free from red tape or administrative barriers. Every family without exception, and every veteran will have their personal social worker, a coordinator, who will be there for them in person to resolve in real time any issue they might face. Let me emphasise that the fund must open its offices in all regions of the Russian Federation in 2023.

We already have measures in place for supporting Great Patriotic War veterans, combat veterans, as well as participants in local conflicts. I believe these essential elements will be added to the state fund's mission moving forward. We need to explore this possibility, and I am asking the Government to do so.

Make no mistake: the fact that we are establishing a state fund does not mean that other institutions or officials at other levels of government will be relieved of their responsibility. I expect all federal agencies, regions and municipalities to stay focused on veterans, on service personnel and their families. In this context, I would like to thank the senior regional officials, mayors, and governors who routinely meet with people, including by visiting the line of contact, and support their fellow countrymen.

On a special note, let me say that today, career service personnel, mobilised conscripts, and volunteers all share frontline hardships, including in terms of provisions, supplies and equipment, remuneration, and insurance payments to the wounded, as well as healthcare services. However, there are complaints that make it all the way to my office, as well as to the governors, as they have been telling me, and to the military prosecutor's office and the Human Rights Commissioner, showing that some of these issues have yet to be resolved. We need to get to the bottom of each complaint on a case-by-case basis.

And one more thing: everyone understands that serving in the special military operation zone causes immense physical and

mental stress, since people risk their lives and health every day. For this reason, I believe that the mobilised conscripts, as well as all service personnel, and all those taking part in the special military operation, including volunteers, must benefit from a leave of absence of at least 14 days every six months without counting the time it takes them to travel to their destination. This way, every fighter will be able to meet family and spend time with their loved ones.

Colleagues, as you are aware, a 2021–2025 plan for building and developing the Armed Forces was approved by a Presidential Executive Order and is being implemented and adjusted as necessary. Importantly, our next steps to reinforce the Army and the Navy and to secure the current and future development of the Armed Forces must be based on actual combat experience gained during the special military operation, which is extremely important, I would even say absolutely invaluable to us.

For example, the latest systems account for over 91 percent, 91.3 percent, of Russia's nuclear deterrence forces. To reiterate, based on our newly acquired experience, we must access a similarly high quality level for all other components of the Armed Forces.

Officers and sergeants who act as competent, modern and decisive commanders, and they are many, will be promoted to higher positions as a matter of priority, sent to military universities and academies, and will serve as a powerful personnel reserve for the Armed Forces. Without a doubt, they are a valuable resource in civilian life and at governments at all levels. I just want our colleagues to pay attention to that. It is very important. The people must know that the Motherland appreciates their contribution to the defence of the Fatherland.

We will widely introduce the latest technology to ensure high-quality standards in the Army and Navy. We have corresponding pilot projects and samples of weapons and equipment in each area. Many of them are significantly superior to their foreign counterparts. Our goal is to start mass production. This work is underway and is picking up pace. Importantly, this relies on domestic research and the industrial base and involves small- and medium-sized high-tech businesses in implementation of the state defence order.

Today, our plants, design bureaus and research teams employ experienced specialists and increasing numbers of talented and highly skilled young people who are oriented towards breakthrough achievements while remaining true to the tradition of Russian gunsmiths, which is to spare no effort to ensure victory.

We will certainly strengthen the guarantees for our workforce, in part concerning salaries and social security. I propose launching a special programme for low-cost rental housing for defence industry employees. The rental payments for them will be significantly lower than the going market rate, since a significant portion of it will be covered by the state.

The Government reviewed this issue. I instruct you to work through the details of this programme and start building such rental housing without delay, primarily, in the cities that are major defence, industrial and research centres.

Colleagues,

As I have already said, the West has opened not only military and informational warfare against us, but is also seeking to fight us on the economic front. However, they have not succeeded on any of these fronts, and never will. Moreover, those who initiated the sanctions are punishing themselves: they sent prices soaring in their own countries, destroyed jobs, forced companies to close, and caused an energy crisis, while telling their people that the Russians were to blame for all of this. We hear that.

What means did they use against us in their efforts to attack us with sanctions? They tried disrupting economic ties with Russian companies and depriving the financial system of its communication channels to shutter our economy, isolate us from export markets and thus undermine our revenues. They also stole our foreign exchange reserves, to call a spade a spade, tried to depreciate the ruble and drive inflation to destructive heights.

Let me reiterate that the sanctions against Russia are merely a means, while the aim as declared by the Western leaders, to quote them, is to make us suffer. “Make them suffer” – what a humane attitude. They want to make our people suffer, which is designed to destabilise our society from within.

However, their gamble failed to pay off. The Russian economy, as well as its governance model proved to be much more resilient than the West thought. The Government, parliament, the Bank of Russia, the regions and of course the business community and their employees all worked together to ensure that the economic situation remained stable, offered people protection and preserved jobs, prevented shortages, including of essential goods, and supported the financial system and business owners who invest in their enterprises, which also means investing in national development.

As early as in March 2022, we launched a dedicated assistance package for businesses and the economy worth about a trillion rubles. I would like to draw your attention to the fact that this has nothing to do with printing money. Not at all. Everything we do is solidly rooted in market principles.

In 2022, there was a decline in the gross domestic product. Mr Mishustin called me to say, “I would like to ask you to mention this.” I think that these data were released yesterday, right on schedule.

You may remember that some predicted that the economy would shrink by 20 to 25 percent, or maybe 10 percent. Only recently, we spoke about a 2.9 percent decline, and I was the one who announced this figure. Later it came down to 2.5 percent. However, in 2022, the GDP declined by 2.1 percent, according to the latest data. And we must be mindful of the fact that back in February and March of last year some predicted that the economy would be in free fall.

Russian businesses have restructured their logistics and have strengthened their ties with responsible, predictable partners – there are many of them, they are the majority in the world.

I would like to note that the share of the Russian ruble in our international settlements has doubled as compared to December 2021, reaching one third of the total, and including the currencies of the friendly countries, it exceeds half of all transactions.

We will continue working with our partners to create a sustainable, safe system of international settlements, which will be independent of the dollar and other Western reserve currencies that are bound to lose their universal appeal with this policy of the Western elite, the Western rulers. They are doing all this to themselves with their own hands. We are not the ones reducing transactions in dollars or other so-called universal currencies – they are doing everything with their own hands.

You know, there is a maxim, cannons versus butter. Of course, national defence is the top priority, but in resolving strategic tasks in this area, we should not repeat the mistakes of the past and should not destroy our own economy. We have everything we need to both ensure our security and create conditions for confident progress in our country. We are acting in line with this logic and we intend to continue doing this.

Thus, many basic, I will stress, civilian industries in the national economy are far from being in decline, they have increased their production last year by a considerable amount. The scale of housing put into service exceeded 100 million square meters for the first time in our modern history.

As for agricultural production, it recorded two-digit growth rates last year. Thank you very much. We are most grateful to our agricultural producers. Russian agrarians harvested a record amount – over 150 million tonnes of grain, including over 100 million tonnes of wheat. By the end of the agricultural season, that is, June 30, 2023, we will bring our grain exports to 55–60 million tonnes.

Just 10 or 15 years ago, this seemed like a fairy tale, an absolutely unfeasible plan. If you remember, and I am sure some people do remember this – the former Deputy Prime Minister and the Minister of Agriculture are here – just recently, agrarians took in 60 million tonnes overall in a year, whereas now 55–60 million is their export potential alone. I am convinced we have every opportunity for a similar breakthrough in other areas as well.

We prevented the labour market from collapsing. On the contrary, we were able to reduce unemployment in the current environment. Today, considering the major challenges coming at us from all sides, the labour market is even better than it used to be. You may remember that the unemployment rate was 4.7 percent before the pandemic, and now, I believe, it is 3.7 percent. What is the figure, Mr Mishustin? 3.7 percent? This is an all-time low.

Let me reiterate that the Russian economy has prevailed over the risks it faced – it has prevailed. Of course, it was impossible to anticipate many of them, and we had to respond literally on the fly, dealing with issues as they emerged. Both the state and businesses had to move quickly. I will note that private actors, SMEs, played an essential role in these efforts, and we must remember this. We avoided having to apply excessive regulation or distorting the economy by giving the state a more prominent role.

What else there is to say? The recession was limited to the second quarter of 2022, while the economy grew in the third and fourth quarters. In fact, the Russian economy has embarked on a new growth cycle. Experts believe that it will rely on a fundamentally new model and structure. New, promising global markets, including the Asia-Pacific, are taking precedence, as is the domestic market, with its research, technology and workforce no longer geared toward exporting commodities but manufacturing goods with high added value. This will help Russia unleash its immense potential in all spheres and sectors.

We expect to see a solid increase in domestic demand as early as this year. I am convinced that companies will use this opportunity to expand their manufacturing, make new products that are in high demand, and to take over the market niches vacated or about to be vacated by Western companies as they withdraw.

Today, we clearly see what is going on and understand the structural issues we have to address in logistics, technology, finance, and human resources. Over the past years, we have been talking a lot and at length about the need to restructure our economy. Now these changes are a vital necessity, a game changer, and all for the better. We know what needs to be done to enable Russia

to make steady progress and to develop independently regardless of any outside pressure or threats, while guaranteeing our national security and interests.

I would like to point out and to emphasise that the essence of our task is not to adapt to circumstances. Our strategic task is to take the economy to a new horizon. Everything is changing now, and changing extremely fast. This is not only a time of challenges but also a time of opportunities. This is really so today. And our future depends on the way we realise these opportunities. We must put an end – and I want to emphasise this – to all interagency conflicts, red tape, grievances, doublespeak, or any other nonsense. Everything we do must contribute to achieving our goals and delivering results. This is what we must strive to achieve.

Enabling Russian companies and small family-run businesses to successfully tap the market is a victory in itself. Building cutting-edge factories and kilometres of new roads is a victory. Every new school, every new kindergarten we build is a victory. Scientific discoveries and new technologies – these are also victories, of course. What matters is that all of us contribute to our shared success.

What areas should we focus the partnership of the state, the regions and domestic business on?

First, we will expand promising foreign economic ties and build new logistics corridors. A decision has already been made to extend the Moscow-Kazan expressway to Yekaterinburg, Chelyabinsk and Tyumen, and eventually to Irkutsk and Vladivostok with branches to Kazakhstan, Mongolia and China. This will, in part, allow us to considerably expand our ties with Southeast Asian markets.

We will develop Black Sea and Sea of Azov ports. We will pay special attention to the North-South international corridor, as those who work on this every day know. Vessels with a draft of up to 4.5 meters will be able to pass through the Volga-Caspian Sea Canal this year. This will open up new routes for business cooperation with India, Iran, Pakistan, and the Middle Eastern countries. We will continue developing this corridor.

Our plans include expedited modernisation of the eastern railways – the Trans-Siberian Railway and the Baikal-Amur Railway (BAM) – and building up the potential of the Northern Sea Route. This will create not only additional freight traffic but also a foundation for reaching our national goals on developing Siberia, the Arctic and the Far East.

The infrastructure of the regions and the development of infrastructure, including communications, telecommunications and railways will receive a powerful impetus. Next year, 2024, we will bring to a proper condition at least 85 percent of all roads in the country's largest metropolises, as well as over half of all regional and municipal roads. I am sure we will achieve this.

We will also continue our free gas distribution programme. We have already made the decision to extend it to social facilities – kindergartens and schools, outpatient clinics and hospitals, as well as primary healthcare centres. This programme will now be permanent for our citizens – they can always request a connection to the gas distribution system.

This year, we will launch a large programme to build and repair housing and utility systems. Over the next ten years, we plan to invest at least 4.5 trillion rubles in this. We know how important this is for our people and how neglected this area has been. It is necessary to improve this situation, and we will do it. It is important to give the programme a powerful start. So, I would like to ask the Government to ensure stable funding for this.

Second, we will need to significantly expand our economy's production capabilities and to increase domestic industrial capacity.

An industrial mortgage tool has been created, and an easy-term loan can now be taken out not only to purchase production facilities, but also to build or upgrade them. The size of such a loan was discussed many times and there were plans to increase it. It is a decent amount for a first step: up to 500 million rubles. It is available at a rate of 3 or 5 percent for up to seven years. It sounds like a very good programme and should be put to good use.

New terms for industrial clusters took effect this year, including a lower fiscal and administrative burden on resident companies, and long-term state orders and subsidies to support demand for their innovative products, which are just entering the market.

According to estimates, these measures will generate high-demand projects worth over 10 trillion rubles by 2030. Investment is expected to reach about 2 trillion this year alone. Please note that these are not forecasts, but existing benchmarks.

Therefore, I would like the Government to expedite the launch of these projects, give a hand to businesses and come up with systemic support measures, including tax incentives. I am aware that the financial bloc does not like to provide incentives, and I partly share this approach: the taxation system must be consistent and without niches or exemptions, but this particular case calls for a creative approach.

So, starting this year, Russian companies will be able to reduce their revenue taxes if they purchase advanced domestic IT solutions and AI-enhanced products. Moreover, these expenses will be credited at one and a half times the actual cost, meaning that every ruble invested in purchasing such products will result in a tax deduction of 1.5 rubles.

I propose extending these deductions to purchases of all kinds of Russian high-tech equipment. I would like the Government to come up with a list of such equipment by specific industry and with the procedure for granting deductions. This is a good solution to reinvigorate the economy.

Third, a crucial issue on our economic development agenda to do with the new sources of funding investment, which we have been talking about a lot.

Thanks to our strong payments balance, Russia does not need to borrow funds abroad, kowtow and beg for money, and then hold long discussions on what, how much and on what conditions we would pay back. Russian banks are working stably and sustainably and have a solid margin for security.

In 2022, the volume of bank loans for the corporate sector increased, I repeat, increased. There was considerable concern about that, but we have reported growth, an increase of 14 percent, or more than we reported in 2021, before the military operation. In 2021, the figure was 11.7 percent; last year, it was 14 percent. The mortgage portfolio went up by 20.4 percent. We are growing.

Last year, the banking sector as a whole operated at a profit. It was not as large as in the preceding years, but it was considerable nevertheless: 203 billion rubles. This is another indicator of the stability of the Russian financial sector.

According to our estimates, inflation in Russia will approach the target figure of 4 percent in the second quarter this year. I would like to remind you that the inflation rate has reached 12, 17 and 20 percent in some EU countries. Our figure is 4 or 5 percent; the Central Bank and the Finance Ministry are still discussing the figure, but it will be close to the target. Given these positive dynamics and other macroeconomic parameters, we are creating objective conditions for lowering long-term interest rates in the economy, which means that loans for the real economic sector will become more affordable.

Individual long-term savings are a vital source of investment resources around the world, and we must also stimulate their attraction into the investment sphere. I would like the Government to expedite the submission of draft laws to the State Duma to launch the relevant state programme as soon as this April.

It is important to create additional conditions to encourage people to invest and earn at home, in the country. At the same time, it is necessary to guarantee the safety of people's investment in voluntary retirement savings. We should create a mechanism here similar to the one used for insuring bank deposits. I would like to remind you that such savings, worth up to 1.4 million rubles, are insured by the state on guarantee deposits. I propose doubling the sum to 2.8 million rubles for voluntary retirement savings. Likewise, we must protect people's investment in other long-term investment instruments, including against the possible bankruptcy of financial brokers.

Separate decisions must be taken to attract funds to rapidly growing and high-tech businesses. We will approve support for the placement of their shares on the domestic stock market, including tax benefits for both the companies and the buyers of their stock.

Freedom of enterprise is a vital element of economic sovereignty. I will repeat: against the backdrop of external attempts to contain Russia, private businesses have proven their ability to quickly adapt to the changing environment and ensure economic growth in difficult conditions. So, every business initiative aimed at benefiting the country should receive support.

I believe it is necessary to return, in this context, to the revision of a number of norms of criminal law as regards the economic elements of crime. Of course, the state must control what is happening in this area. We should not allow an anything-goes attitude here but we should not go too far, either. It is necessary to move faster towards the decriminalisation I mentioned. I hope the Government will consistently and seriously conduct this work together with Parliament, the law-enforcement bodies and business associations.

At the same time, I would like to ask the Government to suggest, in close cooperation with Parliament, additional measures for speeding up the de-offshorisation of the economy. Businesses, primarily those operating in key sectors and industries should operate in Russian jurisdiction – this is a fundamental principle.

Colleagues, in this context I would like to make a small philosophical digression. This is what I would like to single out.

We remember what problems and imbalances the Soviet economy faced in its later stages. This is why after the collapse of the Soviet Union and its planned system, in the chaos of the 1990s, the country began to create its economy along the lines of market relations and private ownership. Overall, this was the right thing to do. The Western countries were largely an example to follow in this respect. As you know, their advisers were a dime a dozen, and it seemed enough to simply copy their models.

True, I remember they still argued with each other – the Europeans argued with the Americans on how the Russian economy should develop.

And what happened as a result? Our national economy was largely oriented to the West and for the most part as a source of raw materials. Naturally, there were different nuances, but overall, we were seen as a source of raw materials. The reasons for this are also clear – naturally, the new Russian businesses that were taking shape were primarily oriented toward generating profit, quick and easy profit in the first place. What could provide this? Of course, the sale of resources – oil, gas, metals and timber.

Few people thought about other alternatives or, probably, they did not have the opportunity to invest long-term. This is the reason other, more complex industries did not make much headway. It took us years – other governments saw this clearly – to break this negative trend. We had to adjust our tax system and make large-scale public investments.

We have achieved real and visible change. Indeed, the results are there, but, again, we should keep in mind the circumstances in which our major businesses developed. Technologies were coming from the West, cheaper sources of financing and lucrative markets were in the West, and capital started flowing to the West as well. Unfortunately, instead of expanding production and buying equipment and technology to create new jobs in Russia, they spent their money on foreign mansions, yachts and luxury real estate.

They began to invest in the economy later, but initially the money flowed rapidly to the West for consumption purposes. And since their money was there, that is where their children were educated, where their life was, their future. It was very difficult and almost impossible for the state to track and prevent these developments, because we lived in a free market paradigm.

Recent events have clearly shown that the image of the West as a safe haven for capital was a mirage. Those who failed to understand this in time, who saw Russia only as a source of income and planned to live mostly abroad, have lost a lot. They just got robbed there and saw even their legitimate money taken away.

At some point I made a joke – many may still remember it – I told Russian businesspeople that they will make themselves sick running from courtroom to courtroom and from office to office in the West trying to save their money. That is exactly how it turned out.

You know, I will say something that is quite simple, but truly important. Trust me, not a single ordinary citizen in our country felt sorry for those who lost their assets in foreign banks, lost their yachts or palaces abroad, and so on. In their conversations around the kitchen table, people have all recalled the privatisation of the 1990s, when enterprises that had been built by our entire nation were sold for next to nothing and the so-called new elites flaunted their lavish lifestyle.

There are other key aspects. During the years that followed the breakup of the Soviet Union, the West never stopped trying to set the post-Soviet states on fire and, most importantly, finish off Russia as the largest surviving portion of the historical reaches of our state. They encouraged international terrorists to assault us, provoked regional conflicts along the perimeter of our borders, ignored our interests and tried to contain and suppress our economy.

I am saying this because big business in Russia controls strategic enterprises with thousands of workers that determine the socioeconomic well-being of many regions and, hence, the overall state of affairs. So, whenever leaders or owners of such businesses become dependent on governments that adopt policies that are unfriendly to Russia, this poses a great threat to us, a danger to our country. This is an untenable situation.

Yes, everyone has a choice. Some may choose to live in a seized mansion with a blocked account, trying to find a place for themselves in a seemingly attractive Western capital, a resort or some other comfortable place abroad. Anyone has the right to do that, and we will never infringe on it. But it is time to see that in the West these people have always been and will always remain second class strangers who can be treated any way, and their money, connections and the acquired titles of counts, peers or mayors will not help at all. They must understand that they are second class people there.

There is another option: to stay with your Motherland, to work for your compatriots, not only to open new businesses but also to change life around you in cities, towns and throughout your country. We have quite a few businesspeople like this, real fighters in our business community, and we associate the future of our business with them. Everyone must know that the sources of their prosperity and their future can only be here, in their native country Russia.

If they do, we will create a very strong and self-sufficient economy that will not remain aloof in the world but will make use of all its competitive advantages. Russian capital, the money earned here, must be put to work for the country, for our national development. Today, we see huge potential in the development of infrastructure, the manufacturing sector, in domestic tourism and many other industries.

I would like those who have come up against the predatory mores of the West to hear what I have to say: running around with cap in hand, begging for your own money makes no sense, and most importantly, it accomplishes nothing, especially now that

you realise who you are dealing with. Stop clinging to the past, resorting to the courts to get at least something back. Change your lives and your jobs, because you are strong people – I am addressing our businesspeople now, many of whom I have known for years, who know what is what in life.

Launch new projects, earn money, work hard for Russia, invest in enterprises and jobs, and help schools and universities, science and healthcare, culture and sports. In this way, you will increase your wealth and will also win the respect and gratitude of the people for a generation ahead. The state and society will certainly support you.

Let us consider this as a message for your business: get moving in the right direction.

Colleagues,

Russia is an open country and at the same time, a distinct civilisation. There is no claim to exclusivity or superiority in this statement, but this civilisation of ours – that's what matters. Our ancestors passed it to us and we must preserve it for our descendants and pass it on to them.

We will develop cooperation with friends, with all those who are ready to work with us. We will adopt the best practices but will primarily rely on our own potential, on the creative energy of Russian society, on our traditions and values.

Here I would like to mention the character of our people who have always been distinguished by their generosity, magnanimity, mercy and compassion, and Russia, as a country, fully reflects these traits. We know how to be good friends, how to stand by one's word. We will never let anyone down and will always support those in a difficult situation without hesitation.

Everyone remembers that during the pandemic we were actually the first to support some European countries, including Italy and other states when they were going through the most difficult weeks of the COVID outbreak, and let's not forget how we are helping Syria and Turkiye after a devastating earthquake.

It is the people of Russia that are the foundation of our national sovereignty and our source of power. The rights and freedoms of our citizens are immutable – they are guaranteed by the Constitution and we will not depart from this despite the external challenges and threats.

I would like to emphasise in this context that elections to local and regional government bodies next September and the presidential elections in 2024 will take place in strict accordance with the law and observance of all democratic, constitutional provisions.

Elections always reveal different approaches to resolving social and economic goals. That said, the leading political forces are consolidated and united in the main idea – the security and wellbeing of the people; our sovereignty and our national interests override everything else for us.

I would like to thank you for this responsible, firm position and recall the words of Pyotr Stolypin, a patriot and a proponent of a strong Russian state. He said this in the State Duma over a hundred years ago, but it is still consonant with our times. He said: "In the cause of defending Russia, all of us must unite and coordinate our efforts, our commitments and our rights for supporting one historical supreme right – the right of Russia to be strong."

Volunteers at the frontline include deputies of the State Duma and regional parliaments, representatives from different levels of executive government bodies, municipalities, cities, districts and rural areas. All parliamentary parties and leading public associations are taking part in collecting humanitarian aid to help at the front.

Thank you once again – thank you for such a patriotic stand.

Local governments as a public authority closest to the people play a huge role in strengthening civil society and solving everyday problems. People's trust in the state as a whole, social welfare of the country's citizens and their confidence in the successful development of the country depends on how they work.

I would like to ask the Presidential Executive Office and the Government to submit proposals on creating tools of direct support for the best managerial teams and practices in large, medium-sized and small municipalities.

The free development of society means being ready to take responsibility for yourself and your loved ones, for your country. These qualities must be encouraged from a young age in the family. Of course, the system of education and our national culture are extremely important for strengthening our common values and our national identity.

The state will use the resources of the Presidential Grants Foundation, the Foundation for Cultural Initiatives, the Institute for Internet Development and other instruments to support all forms of creative endeavour, such as contemporary and traditional

art, realism and avant-garde, classical and innovative works. It is not genres or trends that matter. Culture must serve the good, beauty and harmony, ponder some very complicated and contradictory issues in life, but its main mission is not to tear down society but to nurture the best human qualities.

Cultural development will be a priority of rebuilding peaceful life in Donbass and Novorossiia. We will have to rebuild, repair and provide equipment to hundreds of cultural facilities there, including museum collections and buildings, which help people feel the connection between the past and the present and create a link to the future, to feel their affiliation with the common cultural, historical and educational space of the centuries-old great Russia.

We must work together with our teachers, academics and professionals to seriously improve the quality of school and university textbooks, first of all in the humanities – history, social science, literature and geography – so that our young people learn as much as possible about Russia, its great past, its culture and traditions.

We have brilliant, talented young people who are willing to work for the benefit of our country in areas like scientific research, culture, the social sphere, business and public administration. The Leaders of Russia competition, as well as the Leaders of Revival competition currently taking place in the new constituent entities of the Federation, are opening up new horizons for career growth for these very people.

Notably, a number of winners and finalists in these competitions have voluntarily joined military units. Many of them are now working in the liberated territories helping rebuild economic and social life, and they are acting professionally, decisively and courageously.

Generally speaking, nothing can replace the school of war. People return entirely different, and they are ready to lay down their lives for the Fatherland, wherever they may be working.

Let me stress that it's precisely those who were born and raised in Donbass and Novorossiia, who have fought for them, they will be and should form the foundation of our joint effort to develop these regions. I want them to hear me: Russia is counting on you.

With the ambitious tasks facing our country in mind, we must seriously revise our approaches to the system of professional education, to our science and technology policy.

At the recent meeting of the Council for Science and Education, we discussed the need to prioritise our efforts, to concentrate resources on obtaining specific and fundamentally meaningful scientific results, primarily in areas where we have done a fair amount of work and which are of critical importance to our country, including transport, energy, housing and utilities, public healthcare, agriculture, and the manufacturing industry.

Innovative technology invariably relies on existing fundamental research. Here, just like in culture – and I want to emphasise this – we must give researchers greater freedom for creativity. We should not have everyone just focused on the results that we will need tomorrow. Fundamental science makes its own rules.

Also, setting and fulfilling ambitious goals is a powerful incentive for young people to choose science as their field and a chance to prove their leadership skills and being the best in the world. Our research teams have much to be proud of.

Last December, I met with some of our young researchers. One of their questions concerned housing. A mundane, but important issue. Housing certificates for young researchers are already available. Last year, an additional one billion rubles was set aside for these purposes. I hereby instruct the Government to identify reserves to expand this programme.

In recent years, the prestige of secondary vocational education has grown significantly. The demand for graduates of technical schools and colleges is just huge, colossal. You see, if our unemployment has fallen to a historic low of 3.7 percent, it means that people are working, new personnel is needed.

I believe that we should significantly expand the Professionalitet project, under which educational and industrial clusters are created, the educational base is updated, and enterprises and employers develop educational programmes based on the needs of the economy in close contact with colleges and technical schools. And of course, it is very important for mentors with experience in real, complex production to join in.

The task is clear: in the next five years we need to train about a million specialists of working professions for the electronics industry, the robotics industry, mechanical engineering, metallurgy, pharmaceuticals, agriculture and the defence industry, construction, transport, nuclear and other industries that are key to ensuring the security, sovereignty and competitiveness of Russia.

Finally, a very important question is about our higher education. Significant changes are also overdue here, considering the new

requirements for specialists in the economy, social sectors, and in all spheres of life in our country. What we need here is a synthesis of all the best that was in the Soviet system of education and the experience of recent decades.

In this regard, the following is proposed.

First, to return to the basic training of specialists with higher education, which is traditional for our country. The term of study can be four to six years. At the same time, programmes can be offered that differ in terms of training, depending on the specific profession, industry and labour market demand even within the same specialty and one university.

Second, if a profession requires additional training or niche specialisation, in this case a young person will be able to continue education by doing a master's degree or choosing residency training.

Third, postgraduate studies will be made into a separate level of professional education, the task of which is to train personnel for scientific and teaching professions.

I want to emphasise that the transition to the new system should be smooth. The Government, together with parliamentarians, will need to make numerous amendments to legislation on education, on the labour market, and so on. Here you need to think everything through, work out every detail. Young people, our citizens should have new opportunities for quality education, employment and professional growth. I repeat: opportunities, not problems.

And I would like to specifically note that those students who are studying now will be able to continue their education under existing programmes. And also, the level of training and higher education diplomas of citizens who have already completed studies under current undergraduate, specialist or master's programmes are not subject to revision. They must not lose their rights. I ask the Russian Popular Front to take all issues related to changes in the field of higher education under special control.

This year was declared the Year of the Teacher and Mentor in Russia. Teachers are directly involved in building the country's future, and it is important to raise the social status of their work. Parents should talk to their children more about gratitude for their teachers, and teachers should instil in children respect and love for their parents. Let's always remember this.

I will talk about support for children and Russian families in a minute.

I would like to note that the so-called children's budget, or budget allocations to support families in Russia, has increased manifold rather than by a small percent over the past few years. These expenses are the fastest growing part of the country's main financial document – the budget, the law on the budget. I would like to thank the parliament members and the Government for their uniform, consolidated understanding of our national priorities.

On February 1, the maternity capital in Russia was again adjusted for inflation. As we promised, it was adjusted by last year's inflation rate, that is, by 11.9 percent. Russian citizens – residents of the new regions of the Federation – are also entitled to this support now. I suggest granting maternity capital to families in the Donetsk and Lugansk people's republics and the Zaporozhye and Kherson regions where children were born starting from 2007, that is, when this programme was launched throughout Russia. I will recall that at one time we made a similar decision for the residents of Crimea and Sevastopol.

We will continue implementing large-scale programmes aimed at improving the living standards of Russian families.

I would like to emphasise that the Government and the regions of the Federation have been given a practical goal – to ensure noticeable, tangible growth in real wages in Russia.

As we all know, an important indicator, a starting point here is the minimum wage. We raised it twice last year, almost by 20 percent overall.

We will continue raising the minimum wage, doing it at a rate that is higher than the inflation rate and the real wage growth rate. Since the start of this year, the minimum wage was adjusted by 6.3 percent.

I suggest supplementing the planned increase by an additional 10 percent starting January 1, 2024. Thus, the minimum wage will have grown by 18.5 percent to constitute 19,242 rubles.

Now I would like to mention adjustments to the taxation system for the benefit of Russian families. Starting last year, families with two or more children have been relieved of paying tax on the sale of housing if they are purchasing a new, bigger flat or house.

It is necessary to make better use of these instruments – they have proven to be in demand. Families should have more money in their family budgets to be able to resolve their most important and urgent problems.

I suggest increasing the amount of social tax deductions: for children's education costs – from current 50,000 rubles to 110,000 rubles per year, and for costs on personal education, medical treatment or purchase of medications – from current 120,000 to 150,000 rubles. The state will reimburse the 13 percent income tax paid on these increased amounts.

Naturally we need not only to increase this deduction, but also to make this benefit easily available to people. This deduction should be granted proactively, quickly and online. This process should be easy for applicants.

Next. The well-being, the quality of life of Russian families, and therefore the demographic situation, depend directly on the state of things in the social sphere.

I know that many regions of the Federation are ready to significantly speed up renovation of social infrastructure, cultural and sports facilities, relocation of people from dilapidated housing, and comprehensive development of rural areas. This attitude will certainly be supported.

We will use the following mechanism here: the regions will be able to receive now and use the funds that have been set aside in the 2024 federal budget for national projects, through interest-free treasury loans – they will be automatically repaid in April of 2024. It is a good tool.

We will keep this issue under constant review, and I ask the State Council Commission On Economy and Finance to become involved in this work.

However, we don't need to rush and chase after numbers, especially to the detriment of the quality of the facilities being built. Additional financial resources must be used efficiently to give a high return.

This is particularly vital for the modernisation of primary health care, a large-scale programme that we launched in 2021. I ask the Government and regional leaders not to forget that the benchmark – I have said this many times – is not the numbers in reports, but concrete, visible, tangible progress in the availability and quality of medical care.

I also instruct the Government to adjust the regulatory framework for organising the procurement of ambulances with diagnostic equipment. They allow for medical check-ups and preventive examinations to be carried out directly at enterprises, schools, offices and in remote communities.

We have launched a large-scale school renovation programme. By the end of this year, a total of almost 3,500 school buildings will have been renovated. I would like to point out that most of them are in rural areas and we have done this on purpose. This year such work is also being carried out in the Donetsk and Lugansk people's republics, in the Kherson and Zaporozhye regions. It is meaningful and visible, people really see what is happening. This is very good.

From 2025 onwards, federal funds will be regularly and systematically allocated to the regions for repairing and renovating kindergartens, schools, vocational schools and colleges so as to avoid situations where buildings are in dilapidated condition.

Next, we have set a major goal, to build more than 1,300 new schools between 2019 and 2024. Of these, 850 are now open. Another 400 will open this year. I want the regions to stay on track to meet these objectives. The amount of federal funding for this 2019–2024 programme is almost 490 billion rubles. We will not cut these costs, we will keep this amount intact.

This year, we increased the amount of infrastructure budget loans. We are sending additional funds, not as previously planned, but an additional 250 billion rubles for expanding transport, utility and other infrastructure in the regions.

I hereby instruct the Government to allocate, in addition to these funds, an additional 50 billion rubles – which will be purposefully used to upgrade public transport in the constituent entities of the Federation this year. This upgrade will be used for the latest technology. Please pay special attention to small towns and rural areas.

We have decided to extend the Clean Air project through 2030. The goal is to improve the environment in major industrial centres. I want industrial companies and regional and local authorities to keep in mind that a significant reduction in harmful emissions remains on the agenda.

In addition, we have accomplished much in reforming the waste management industry. We are building up recycling and sorting capacity which will help us build a closed-loop economy. Further elimination of old landfills and hazardous material sites is our top priority. I want the Government, in conjunction with the regions, to draft a list of harmful sites that will be eliminated upon the completion of this programme.

We will continue to restore unique water bodies, including Lake Baikal and the Volga River. In the medium term, we will extend this work to other rivers such as the Don, Kama, Irtysh, Ural, Terek, Volkhov and Neva rivers, and Lake Ilmen. We must not forget about medium and small rivers. I want all levels of government to pay attention to this.

As part of an earlier instruction, a draft law on promoting tourism in specially protected nature areas has been submitted. It was recently discussed at a meeting with the Government. It should clearly define what can be built and where and what cannot, and generally set forth the principles of the ecotourism industry. This is a critically important issue for our country. I ask the State Duma to speed up consideration of this draft law.

Now I will say a few words about what is happening around us.

Colleagues, I will talk about one more issue.

In early February, the North Atlantic alliance made a statement with actual demand to Russia, as they put it, to return to the implementation of the Strategic Arms Reduction Treaty, including admission of inspections to our nuclear defence facilities. I don't even know what to call this. It is a kind of a theatre of the absurd.

We know that the West is directly involved in the Kiev regime's attempts to strike at our strategic aviation bases. The drones used for this purpose were equipped and updated with the assistance of NATO specialists. And now they also want to inspect our defence facilities? In the current conditions of confrontation, it simply sounds insane.

I would like to draw your attention specifically to the fact that they are not letting us conduct full-scale inspections under this treaty. Our repeated applications to inspect different facilities remain unanswered or are rejected under formal pretexts, and we cannot verify anything on the other side.

I would like to stress that the United States and NATO are openly saying that their goal is to inflict a strategic defeat on Russia. And what, after such statements they are supposed to tour our defence facilities, including the latest ones, as if nothing happened? A week ago, I signed an executive order putting new land-based strategic systems on combat duty. Are they going to poke their nose there as well? Do they think we will let them go there just because?

Having made this collective statement, NATO actually claimed to be a participant in the Treaty on Strategic Offensive Arms. We agree with this, please go ahead. Moreover, we believe this framing of the issue is long overdue. Let me recall that the US is not the only nuclear power in NATO. Britain and France also have nuclear arsenals. They are developing and upgrading them and these arsenals are also directed against us – they are also directed against Russia. The latest statements by their leaders merely confirm it – listen for yourselves.

We cannot just ignore this and have no right to do so especially now. Nor can we forget that the Soviet Union and the United States initially signed the first Treaty on Strategic Offensive Arms in 1991 in a completely different situation – in conditions of abating tensions and growing mutual trust. Subsequently, our relations reached a level that allowed Russia and the US to say they no longer considered each other enemies. Wonderful, everything was going very well.

The Treaty of 2010 that is in force contains critically important provisions about indivisible security and the direct link between strategic offensive and defensive arms. All of that has long been forgotten. The United States withdrew from the ABM Treaty. It is now a thing of the past. Importantly, our relations have degraded which can be credited entirely to the United States.

After the Soviet Union broke up, they began to revise the outcomes of World War II and to build an American-style world ruled by one master. To do this, they began to rudely destroy the foundations of the international order laid down after WWII in order to cross out the legacy of the Yalta and Potsdam conferences. Step by step, they proceeded to revise the existing international order, to dismantle security and arms control systems, and plotted and carried out a series of wars around the world.

To reiterate, all of that was done for the sole purpose of dismantling the post-WWII architecture of international relations. This is not a figure of speech. This is how it all unfolded in reality. After the Soviet Union collapsed, they sought to perpetuate their global dominance regardless of the interests of modern Russia or other countries for that matter.

Sure enough, the international situation changed after 1945. New centres of growth and influence have been formed and are rapidly expanding. This is a natural and objective process that cannot be ignored. But the United States trying to refashion the international order to suit exclusively its own needs and selfish interests is unacceptable.

Now, they are using NATO to give us signals, which, in fact, is an ultimatum whereby Russia should, no questions asked, implement everything that it agreed to, including the New START Treaty, whereas they will do as they please. As if there is no connection between strategic offensive weapons and, say, the conflict in Ukraine or other hostile Western actions against our country. As if there are no vociferous claims about them seeking to inflict a strategic defeat on us. This is either the height of hypocrisy and cynicism, or the height of stupidity, but they are not idiots. They are not stupid after all. They want to inflict a strategic defeat on us and also to get to our nuclear sites.

In this regard, I am compelled to announce today that Russia is suspending its membership in the New START Treaty. To

reiterate, we are not withdrawing from the Treaty, but rather suspending our participation. Before we come back to discussing this issue, we must have a clear idea of what NATO countries such as France or Great Britain have at stake, and how we will account for their strategic arsenals, that is, the Alliance's combined offensive capabilities.

Their statement comes, in fact, as a request to join this process. Well, come onboard, we do not mind. Just try not to lie to everyone this time and present yourselves as champions of peace and detente. We know the truth. We are aware of the fact that certain types of US nuclear weapons are reaching the end of their service life. In this regard, we know for certain that some politicians in Washington are already pondering live nuclear tests, especially since the United States is developing innovative nuclear weapons. There is information to that effect.

Given these circumstances, the Defence Ministry and Rosatom must make everything ready for Russia to conduct nuclear tests. We will not be the first to proceed with these tests, but if the United States goes ahead with them, we will as well. No one should harbour dangerous illusions that global strategic parity can be disrupted.

Colleagues, citizens of Russia,

Today, we are together living through challenging times and overcoming all difficulties together as well. It could not have been otherwise because we have been raised on the example of our great ancestors and must be worthy of their behests that are passed down from generation to generation. We are moving only forward owing to our devotion to our Motherland, our will and our unity.

This cohesion was on display from the first days of the special military operation – hundreds of volunteers, representatives of all ethnicities of our country came to recruitment offices. They decided to stand by the defenders of Donbass, to fight for their native land, for their Fatherland, for the truth and justice. Today, warriors from all regions of our multi-ethnic Motherland are fighting shoulder to shoulder on the frontlines. They pray in different languages, but they all pray for victory, for their fellow soldiers and for the Motherland. (Applause.)

Their difficult military labour, their exploits are finding a powerful response all over Russia. People are supporting our fighters. They don't want to stay on the sidelines. The front is now passing through the hearts of our people in their millions. They are sending medicine, communication devices, transport, warm clothes and camouflage nets, to name a few – everything that helps protect the lives of our fighters.

I know the comfort letters from children and schoolkids give to our soldiers at the front. They take them into battle as a cherished possession because the sincerity and purity of children's wishes bring tears to their eyes. They feel more forcefully for whose sake they are fighting and whom they are defending.

Warriors, their families and civilians greatly appreciate the care with which volunteers are surrounding them. They have been acting boldly and decisively from the very start of the special military operation. Under fire and shelling they are leading children, elders and all those in trouble out of basements; they were and still are bringing food, water and clothes to hot spots; they are setting up humanitarian aid centres for refugees and helping doctors in field hospitals and on the combat contact line; they continue to risk their lives to save others.

The Russian Popular Front alone raised over five billion rubles as part of the All for Victory initiative. The flow of donations does not stop. Every contribution is important and this applies to those made by large companies and businesspeople. But especially touching and inspiring are the donations of people with modest incomes, which are contributing part of their savings, salaries and pensions. This coming together to help our warriors, civilians in the zone of hostilities and refugees is worth a lot.

Thank you for this sincere support, cohesion and mutual aid. It is impossible to overstate their importance.

Russia will meet any challenges because we are all one country, a big and united nation. We are confident in ourselves and confident in our strength. The truth is on our side. (Applause.)

Thank you.

The Anthem of the Russian Federation plays.